

令和2年度～令和5年度入学生用 カリキュラム・マップ

情報学部 学部共通 全学教育科目

令和3年3月4日更新

学号	学士(情報学)							ディプロマポリシー(DP)																					
								1. 専門知識		2. 情報倫理、コミュニケーション能力				3. 論理的思考力				4. 実践力				(中区分別の該当状況)							
	付属情報		情報科学についての知識	行動情報学についての知識	情報社会学についての知識	国際化及びグローバル化についての理解	英語の理解、運用能力	異文化コミュニケーションにおける問題理解・解決	利害、興味、文化、国を越えた人との協働・協調	情報取扱のモラル、マナー、セキュリティ	状況を認識するための必要な情報の収集	情報と知識理解を通じた状況分析・論理的考察	解決すべき社会的・技術的課題の発見・理解	専門知識・能力を活用した解決策の選出	解決策についての説得力ある発表・文書化	解決策の実現・評価	1. 専門知識	2. 情報倫理、コミュニケーション能力	3. 論理的思考力	4. 実践力									
大区分	中区分	小区分	必修選択	科目NO	授業科目	単位	開講種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4			
教養基礎科目	新入生セミナー	1年次	必修	LAFS0101	新入生セミナー	2	演習	大学では、これまでの高校時代とは異なった勉学姿勢・態度が求められます。単に知識・技術を覚えるだけでは十分ではありません。何ごとにも「なぜ?」という問いかけを自分自身に行ない、自分自身で解決すべき課題を見つけ、問題に取り組む姿勢を身につけることが目標です。そのための基礎として、「読める」「他者の意見を聴く」「自分の意見を発表する」「文章内容を読み取る」「レポートを書く」などのアカデミックスキルズを身につけます。 また、大学生は社会人としての見識・マナーを身につけ、良識ある社会人として行動することが求められます。さらに、大学はいろいろな個性を持った友人、教職員の人たちと広く深く触れ合う場所でもあります。この新入生セミナーは、あらゆる意味で君たちの大学での出発となる場所なのです。																					
教養基礎科目	数理・データサイエンス	1年次	必修	LAMD1101	数理・データサイエンス入門	1	演習	現代社会では多様な膨大なデータの利活用を通して、社会課題を解決したり、新しい価値を創出する人材が求められています。本授業では、数理・データサイエンスの基本的考え方、統計学の基礎、情報技術の基礎的知識を理解し、今後の学習で数理・データサイエンスを活用した学習ができるようになることを目標とします。また、具体的な社会課題における数理・データサイエンスの具体的な事例を学び、数理・データサイエンスの必要性について理解し、将来社会で数理・データサイエンスを活用の必要性を説明できるようにすることを目標とします。	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	
教養基礎科目	数理・データサイエンス	1年次	必修	LAMD1102	情報処理・データサイエンス演習	2	演習	今や大学生にとって、情報機器を活用するスキルは必須のものとなっています。インターネットを使った膨大な情報へのアクセスや遠隔地とのコミュニケーション、ワープロや表計算ソフトを使った文書の作成や計算・グラフの作成、PCで作成したスライドを使ってのプレゼンテーションなど、どれもできて当然。とはいえ、実際に体験してみなければ身につかないものです。そこで本科目では、ワープロ、表計算、プレゼンテーションツール、インターネットの活用方法を実践的に学習することを目的とします。体験を重視するため、課題・宿題が比較的多くなります。意欲ある方を歓迎します。	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-
教養基礎科目	英語	1年次	必修	LAEG1101	英語コミュニケーション	2	演習	日常生活および自身の経験や考えについて英語で述べる能力を養う。挨拶、要求、承諾、助言などの基本的なコミュニケーションを図るためのスピーキング能力やコミュニケーション・ストラテジーを身につけることを目指す。また、客観的な指標に基づいて、自身の英語力を把握する。	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	
教養基礎科目	英語	2年次	必修	LAEG2101	英語演習	1	演習	基本的な文法事項と語彙を中心に、英語の基礎的能力を充実させる。基礎的な語彙力や文法力を習得する。TOEICで500点以上を取得する。	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1301	基礎英語A	1	演習	リーディングとリスニングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、大学生として必要となる基礎的な英語力を身につける。	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1302	基礎英語B	1	演習	リーディングとリスニングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、大学生として必要となる基礎的な英語力を身につける事を目標とします。	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2301	基礎英語C	1	演習	リーディングとリスニングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、大学生として必要となる基礎的な英語力を身につける事を目標とします。	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1303	中級英語A	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、大学生として必要となる英語力の基礎を築く。	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1304	中級英語B	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、大学生として必要となる英語力の基礎を築く。	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2302	中級英語C	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、大学生として必要となる英語力の基礎を築く。	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2303	中級英語D	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で身につけた知識や能力を土台として、大学生として必要となる英語力の基礎を築く。	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1305	上級英語A	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語力を身につける。	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1306	上級英語B	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語力を身につける。	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2304	上級英語C	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語力を身につける。	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2305	上級英語D	2	演習	リーディングとライティングを中心に、これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語力を身につける。	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4	
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1307	総合英語 I A	2	演習	これまでの学習で培った基礎的な知識や技能を土台として、総合的な英語運用能力を身につけます。	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2306	総合英語 I B	2	演習	これまでの学習で培った基礎的な知識や技能を土台として、総合的な英語運用能力を身につけます。	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2307	総合英語 I C	2	演習	これまでの学習で培った基礎的な知識や技能を土台として、総合的な英語運用能力を身につけます。	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1308	総合英語 II A	2	演習	これまでの学習で培った知識や技能を土台として、高度な英語運用能力を身につけることをめざす。	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2308	総合英語 II B	2	演習	これまでの学習で培った知識や技能を土台として、高度な英語運用能力を身につけることをめざす。	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2309	総合英語 II C	2	演習	これまでの学習で培った知識や技能を土台として、高度な英語運用能力を身につけることをめざす。	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
教養基礎科目	英語	3年次	選択	LAEG3301	総合英語 III	2	演習	これまでの学習で培った知識や技能を発展させ、さらに高度な英語	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1309	ESP I (留学)	2	演習	これまでに身につけてきた英語力を基礎とし、留学に必要な知識と英語力を身につける。	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
教養基礎科目	英語	1年次	選択	LAEG1310	ESP II (地域)	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、高度な英語運用能力を身につける。	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
教養基礎科目	英語	2年次	選択	LAEG2310	アカデミックイングリッシュ	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、アカデミックな場面を想定した高度な英語力を身につける。	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
教養基礎科目	英語	3年次	選択	LAEG3302	ビジネスイングリッシュ	2	演習	これまでの学習で培った知識や能力を土台として、ビジネスの場面を想定した高度な英語力を身につける。	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
教養基礎科目	英語	1～2	選択	LAEG1311	英語インテンシブA	2	演習	留学に必要な基本的な英語のスキル(英語でのプレゼンテーションやレポート作成)を身につけ、実際に(語学)留学した際に現地の語学学校での英語の勉強についていけるように準備をする	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
教養基礎科目	英語	1～2	選択	LAEG1312	英語インテンシブB	2	演習	英語の正しい発音や音のつながり、短縮といった法則を学ぶことで、リスニング力向上を目指す。	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
教養基礎科目	英語	1～2	選択	LAEG1313	英語インテンシブC	2	演習		-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
教養基礎科目	英語	1～2	選択	LAEG1314	英語インテンシブD	2	演習		-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
教養基礎科目	英語	1～4	選択	LAEG1315	英語海外研修A	2	演習	アメリカ社会に身を置くことで、実践的な英語力を養成する。また、アメリカ人との交流を通し、異文化理解力を深め、国際的な人材になることを目指す。	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
教養基礎科目	英語	1～4	選択	LAEG1316	英語海外研修B	2	演習	カナダ社会に身を置くことで、実践的な英語力を養成する。また、カナダ人との交流を通し、異文化理解力を深め、国際的な人材になることを目指す。	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
教養基礎科目	初修外国語	1年次	必修	LAFL1301	初修外国語入門 I	1	演習	外国語の発音、語彙、文法の基本的な知識を学習し、日常生活に最低限必要なコミュニケーション能力を獲得する。授業では社会と文化に関するトピックを取り上げ、異文化理解と外国語学習を融合させる。聞く、話す、読む、書くの4技能をバランスよく学ぶことを念頭に教材を選び、受講生の外国語の潜在能力が十分に引き出されるように配慮する。				○	○	○										○			
教養基礎科目	初修外国語	1年次	必修	LAFL1302	初修外国語入門 II	1	演習	異文化理解を前提とした外国語学習を進め、日常生活に最低限必要なコミュニケーション能力や語学力の向上を目指す。聞く、話す、読む、書くの4技能をバランスよく学び、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、知識と能力を実用的レベルに引き上げることが目標とする。				○	○	○										○			
教養基礎科目	初修外国語	1年次	選択	LAFL2301	初修外国語 I	2	演習	初修外国語入門 I・IIを学習したことを前提にして、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、訳読、作文、リスニング、口頭での会話練習を行うことで総合的な外国語運用能力の基礎を獲得する。その上で、初修外国語 I では、その後も外国語学習を続けていくための基礎学力としての実用的な文章の読解力を学生が身につけられるように配慮する。				○	○	○										○			
教養基礎科目	初修外国語	1年次	選択	LAFL2302	初修外国語 II	2	演習	初修外国語 I まで学習を進めた学生を対象に、引き続き、基本語彙や文法や日常表現の学習を継続して、訳読、作文、リスニング、口頭での会話練習を行うことで総合的な外国語運用能力の基礎を獲得する。その上で、初修外国語 I と同様に、その後も外国語学習を続けていくための基礎学力としての実用的な文章の読解力を学生が身につけられるように配慮する。				○	○	○										○			
教養基礎科目	健康体育	1～4	選択	LAPH1301	健康体育実技 I	1	実技	青年期・成人期における様々な身体活動の実践を通し、生涯にわたる健康的な生活の実現のために運動(身体活動)がどのような役割を果たすかについて学ぶ。さらに、様々なスポーツ種目の中で、自分の生涯スポーツとしての種目を探し、ライフスタイルの中で取り入れられるように実践する。							○										○		
教養基礎科目	健康体育	1～4	選択	LAPH1302	健康体育実技 II	1	実技	生涯を健康に過ごすため、卓球とバドミントンの基礎技術を習得し、健康について考える。							○										○		
教養基礎科目	健康体育	1～4	選択	LAPH1303	健康体育演習	1	演習	健康体育実技または演習で学んだ基礎知識を基に選択したスポーツ活動に応用し、健康で豊かな生活を送るための方法を自分自身で見つけることができることを目標とする。							○										○		
教養基礎科目	健康体育	2～4	選択	LAPH2301	スポーツ I	1	実技	健康とは、すべての人が願う心からの状態であり、この条件のひとつとして、適度な運動習慣は欠かせない。そこで本授業では、共にゲームを楽しみながらスポーツの持つ価値に触れるとともに、必要な知識を習得すること、そして自ら運動を習慣として身につけることをテーマとします。このような姿勢を身につけ、身体面と精神面での健康と社会的実践力を身につける。							○										○		
教養基礎科目	健康体育	2～4	選択	LAPH2302	スポーツ II	1	実技	テニスの実践を通して、その技術と知識を習得し、生涯スポーツへの契機となる。相手チームと競い合い、チームメイトと協力することにより、有能感や達成感を感じ、同じ目的を持つ仲間との協調性やコミュニケーション力を養う。							○										○		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4	
教養基礎科 目	キャリアデザイン	1年次	必修	LACD1101	キャリアデザイン	1	講義	大学生活3つの柱である学業・人間関係・将来のキャリアについて考えられるようになる。生活と学びの基盤となる大学と地域についての知識を増やし、自らの主体的なキャリア形成に活かせるようになる。世界や日本、地域の経済産業構造の現状について説明できるようになる。個人の生活環境、労働環境の様々な現代の問題について説明できるようになる。									○	○	○						○		
教養展開科 目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必修	LADH1201	思想と芸術A	2	講義	芸術の思想について古代ギリシアから近現代に至るまでの貯蓄を紹介することで芸術を考えたときの基礎的な態度を身に付けたい。									○	○	○						○	○	
教養展開科 目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必修	LADH1202	思想と芸術B	2	講義	芸術の思想について古代ギリシアから近現代に至るまでの貯蓄を紹介することで芸術を考えたときの基礎的な態度を身に付けたい。									○	○	○						○	○	
教養展開科 目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必修	LADH1203	地域の文化と歴史A	2	講義										○	○	○						○	○	
教養展開科 目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必修	LADH1204	地域の文化と歴史B	2	講義										○	○	○						○	○	
教養展開科 目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必修	LADH1205	心理と行動A	2	講義	心理と行動を扱った心理学研究の知見を理解し、説明することができる。日常生活で直接的あるいは間接的に接する事象を、心理学研究の知見をもとに理解、解釈することができる。									○	○	○						○	○	
教養展開科 目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必修	LADH1206	心理と行動B	2	講義	心理と行動を扱った心理学研究の知見を理解し、説明することができる。日常生活で直接的あるいは間接的に接する事象を、心理学研究の知見をもとに理解、解釈することができる。									○	○	○						○	○	
教養展開科 目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必修	LADH1207	経営と経済A	2	講義										○	○	○						○	○	
教養展開科 目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必修	LADH1208	経営と経済B	2	講義										○	○	○						○	○	
教養展開科 目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必修	LADH1209	現代の社会A	2	講義	「家族」が社会のなかでどのような機能を果たしているか、社会の変動に伴い「家族」の形態や機能はどう変化してきたか、社会科学的に捉え、自分が体験し、見てきた「家族」をも歴史的かつ社会的に対象化することを目標とする。									○	○	○						○	○	
教養展開科 目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必修	LADH1210	現代の社会B	2	講義	社会学が対象としてきた諸問題の見方、社会的な視点の取り方を学ぶことを通して、多様な人間・社会について、歴史・民族・文化・制度といったさまざまな条件を考慮し、深く理解し、共生への志向を尊重することを目標とする。									○	○	○						○	○	
教養展開科 目	教養領域A (人文・社会科学)	1～3	選必修	LADH1211	日本国憲法	2	講義	①日本国憲法の基本原則である国民主権、基本的人権の尊重、平和主義について理解できるようになる。 ②身近な問題や時事問題を憲法の観点から考えることができるようになる。 ③主権者として国家に対してどのように向き合うかを考えることができるようになる。									○	○	○						○	○	
教養展開科 目	教養領域B (自然科学)	1～3	選必修	LADN1201	数学の世界	2	講義	複数人で担当する授業なので担当者によって数学を目的とするのか応用とするのかなど、数学の見方が違うことを学び、学習者が自分にとって必要な数学についても考えることができるようになる。									○	○	○						○	○	
教養展開科 目	教養領域B (自然科学)	1～3	選必修	LADN1202	数理の構造	2	講義	身の回りに潜む数学についての知見を深める。									○	○	○						○	○	
教養展開科 目	教養領域B (自然科学)	1～3	選必修	LADN1203	物理の世界	2	講義	自然現象の解明、さらにその応用に必要な基礎科目として物理学がある。本講義では、物理学的観点から自然現象を理解すること、最近のテクノロジーについて学ぶことを目標とする。									○	○	○						○	○	
教養展開科 目	教養領域B (自然科学)	1～3	選必修	LADN1204	自然と物理	2	講義	物理学は、広大な宇宙からミクロな原子に至る様々な自然現象を観測して、得られた結果を理論的に体系づけることによって発展してきた。この物理学の理論体系が現在の様々なテクノロジーの基礎になっている。特に、光による観測(例えば、望遠鏡、顕微鏡など)は、17世紀に始まる古典物理学の発展に大きな役割を果たし、さらに、光の本質に関する探求が20世紀に始まる現代物理学の礎となった。本講義では、物理学の歴史とその発展における光の役割を学び、現在のテクノロジー(特に光科学技術)につながる道筋を理解することが目標である。									○	○	○						○	○	
教養展開科 目	教養領域B (自然科学)	1～3	選必修	LADN1205	化学の世界	2	講義	身近な生活を豊かにする化学から、化学が持続可能な社会の実現に果たす役割を理解する。									○	○	○						○	○	
教養展開科 目	教養領域B (自然科学)	1～3	選必修	LADN1206	生活の科学	2	講義	身近な我々の生活に関連する問題、生活を支えている物質に関して化学の視点で解説を受け、理解を深める。									○	○	○						○	○	
教養展開科 目	教養領域B (自然科学)	1～3	選必修	LADN1207	生命科学	2	講義	進歩が目まぐるしい現代生物学の基礎について、それぞれの項目を専門とする教員が簡単な言葉で授業を行うことにより、生物学の知識がほとんどない学生でも生命科学の基礎と応用を学ぶことができる。									○	○	○						○	○	

令和2年度～令和5年度入学生用 カリキュラム・マップ

情報学部 学部共通

令和3年3月4日更新

学位	学士(情報学)		ディプロマ・ポリシー(DP)																									
			1. 専門知識			2. 情報倫理、コミュニケーション能力				3. 論理的思考力			4. 実践力			(中区分別の該当状況)												
			情報科学についての知識	行動情報学についての知識	情報社会学についての知識	国際化及びグローバル化についての理解	英語の理解・運用能力	異文化コミュニケーションにおける理解・解決	利害・興味、文化、国を越えた人との協調・協働	情報取扱のモラル、マナー、セキュリティ	状況を認識するための必要な情報の収集	情報と知論理解を通じた状況分析・論理的考察	解決すべき社会的・技術的課題の発見・理解	専門知識・能力を活用した解決策の導出	解決策についての説得力ある発表・文書化	解決策の実施・実現・評価	1. 専門知識	2. 情報倫理、コミュニケーション能力	3. 論理的思考力	4. 実践力								
1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4											
付属情報	強く該当するところ◎、該当するところ○、その他関係するところ△																											
大区分	中区分	小区分	必修選択	科目NO	授業科目	単位	開講種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4		
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1101	情報学総論	2	講義	「情報学」って何? 情報学部ではどんなことを勉強するのか? この講義はこれらの疑問に答えることが目的である。すなわち、皆さんがこれから学んでいく「情報学」とは何かについて、複数の教員が分担して授業を展開していく。情報学の内容と範囲は幅広い。この講義によって皆さんは情報学という言葉が表す内容についてイメージすることができるようになる。また、自分がこれから大学で積極的に学ぶべき内容や、将来のキャリアについて考えるための基礎知識を身につけることができる。	◎	◎	◎									○				◎		○		
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1102	コンピュータ入門	2	講義	計算機一般に関する基礎概念を身につける。計算機システムの基本構成をハードウェア・ソフトウェアの両面から説明できるようになる。さらに、各人が購入したパーソナルコンピュータを、情報学部生としての活動に利用することができるようになる。情報学に関するいくつかの最新トピックに関する知識を身につける。	◎	△	△					○								◎		○		
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1103	プログラミング	2	講義・演習	学生が以下の力を身につけることを目標とする 1) 他者のソースコードを参照できる基礎能力を身につける。 2) プログラムが意図通りに稼働しない場合、問題特定・修正ができる。 3) 身近な課題を解決でき、プログラミングも活用できるという成功体験をもつ。 4) 自らプログラミング言語を必要に応じて学んでいく力をつける。		○	△	△										◎	○					◎
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1104	データ処理演習	1	演習	基本的なデータ処理について学び、図表やグラフの作成、ならびに検定などの統計処理の手法を体験することで、受講生はデータの意味をきちんと理解し、データ処理に対して基本を身につける。また数値データサイエンス教育の初歩段階の技能と考え方も習得する。											○	◎							◎	○
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1105	プログラミング入門	1	演習	学生が以下の力を身につけることを目標とする 1) プログラミング受講のための基礎リテラシーと基本的概念を理解する。 2) コンピュータ上での実際のプログラミングを体験し、簡単なプログラムを自身で作成、実行できる。	◎	△	△													○	○			○
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1106	日本語表現法	2	講義	情報発信およびプレゼンテーションを行う上で日本語表現法は不可欠なスキルである。本授業によって、レポート、論文等の文章作成に有効な日本語表現法に焦点を絞り、誤解のない文章を構成するスキル、論理的文章の書き方等について理解できるようになる。概説および演習を通じて、文章表現に必要な論理的思考力を身につけ、事柄をわかりやすく正確かつ的確に伝える文章表現力を習得することを目標とする。										△	○				△	◎			○	◎
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1107	PBL演習	2	演習	この授業は学び方を学ぶ授業です。自分の学習スタイルを診断し、学習方略を最適化する考え方を理解することで、自分を取り巻く学習環境を自らうまくデザインし、マネージする力を身につけます。											△	○	◎						◎	
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1108	コミュニケーションスキルⅠ-A	1	演習	本科目の目的は、情報社会に関連するテーマについて、英語で議論し、プレゼンテーションを行うための基礎的な表現力を身につけることである。4技能(リスニング・リーディング・ライティング・スピーキング)を用いた英語学習を通じ、情報社会について英語で知識を深め、グループワークによる議論とプレゼンテーションができることを目指す。				◎	○	○						△						◎		
専門科目	学部共通科目	1年次	必修	INCM1109	コミュニケーションスキルⅠ-B	1	演習	本科目の目的は、情報社会に関連するテーマについて、英語で議論し、プレゼンテーションを行うための基礎的な表現力を身に付け、コミュニケーションⅠ-Aにて習得した表現力をさらに高めることである。具体的には、4技能(リスニング・リーディング・ライティング・スピーキング)を用いた英語学習を通じて、情報社会について英語で知識を深め、グループワークによる議論とプレゼンテーションができることを目指す。最後のResearch/Presentation Project Group Workshopでは情報学に関連するテーマを自ら選択、調査し、プレゼン				◎	○	○						△						◎		
専門科目	学部共通科目	2年次	必修	INCM2101	情報セキュリティと法制度	2	講義	前半は、暗号をはじめとするセキュリティ要素技術を理解することにより、情報セキュリティの技術的側面の知識を身につける。後半は、現代社会における情報の生産・流通・利活用を規律する法律・政策のメカニズムを理解させ、情報法の基礎知識を身につける。	◎		◎									○					◎		○	
専門科目	学部共通科目	3年次	必修	INCM3101	情報学方法論	1	講義	この授業は各学科ごとに企画・運営される。それぞれの専門領域における情報学のスコープのもと、多様な研究方法や研究テーマ、課題等について紹介・入門的な講義を行うことを通じて、3年次以降のより専門的な学習・研究へとつなげていくことができるようになる。	◎	◎	◎									○	○	○			◎		○	
専門科目	学部共通科目	1年次	選択	INFL1301	リーディングスキル	1	演習	基礎的な語彙・文法力を身につけさせるために、平易な英文のトピック、パラグラフ展開、書き手の主旨を正確に把握でき、かつ、構文を正しく理解する読解力を養う。また、英文のトピック、パラグラフ展開、書き手の主旨を正確に把握でき、複雑な構文を正確に理解する読解力を身につけることを目的とする。				○	◎	○												◎		
専門科目	学部共通科目	1-2年次	選択	INFL1302	ライティングスキルⅠ	1	演習	短文の和文英訳を基礎とした基本構文の理解から始め、トピックセンテンス、支持文、結論、トピックの一貫性など、パラグラフ構成の基本事項を身につけた上で、関心を抱く話題や日常的な話題についての意見など、1パラグラフにまとめるライティングスキルのを身につけることを目的とする。				○	◎	○												◎		
専門科目	学部共通科目	2年次	選択	INFL2301	アカデミックリーディング	1	演習	難解な語彙の習得と難易度の高い英文を理解できるようにする。科学的な内容の英文を読み、英語論文を読み解くうえで必要となる知識の習得を目指す。トピックや大意を正しく把握すると同時に、自分が必要とする知識や情報に関しては、細部まで正しく理解する読解力を身につけることを目的とする。				△	◎						○	○						◎	○	
専門科目	学部共通科目	2年次	選択	INCM2302	情報学特別講義Ⅱ	2	講義	情報システム利活用の先進的事例や情報システムの企画・開発・運用に永年携わってきた方々の経験談などを通じて、情報学部において展開されている理論的な観点からの理解に対し、実践的な観点を知ることが目的としている。			◎										○	○			◎		○	○
専門科目	学部共通科目	2-4年次	選択	INFL2302	イングリッシュディスカッション	1	演習	本科目の目的は、情報社会に関連する時事問題や学術的課題について英語で説明と議論を行い、且つプレゼンテーションとそれに伴う質疑応答を行うことのできる応用的な英語表現力を身につけることを目的とする。コミュニケーションスキルⅠ-a, 1-bにて培った基礎的な英語表現力を更に向上させる科目である。				△	◎						○	○					◎		○	

令和2年度～令和5年度入学生用 カリキュラム・マップ

情報学部 情報科学科

令和3年3月4日更新

学位		ディプロマ・ポリシー(DP)																										
学士(情報学)		1. 専門知識				2. 情報倫理、コミュニケーション能力				3. 論理的思考力				4. 実践力				(中区分別の該当状況)										
付属情報		情報科学についての知識	行動情報学についての知識	情報社会学についての知識	国際化及びグローバル化についての理解	英語の理解・運用能力	異文化コミュニケーションにおける問題理解・解決	利害、興味、文化、国を越えた人との協調・協働	情報取扱のモラル、マナー、セキュリティ	状況を認識するための必要な情報の収集	情報と知論理解を通じた状況分析・論理的考察	解決すべき社会的・技術的課題の発見・理解	専門知識・能力を活用した解決策の導出	解決策の実施・実現、評価・考察	1. 専門知識	2. 情報倫理、コミュニケーション能力	3. 論理的思考力	4. 実践力										
大区分	中区分	小区分	必修選択	科目NO	授業科目	単位	開講種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4		
専門科目	情報科学科	1年次	必修	INIC1101	微分積分学 I	2	講義	微分積分学I, IIを通じ、極限、微分法、積分法、偏微分法、重積分法、微分方程式などの学習項目を受講し、数学的な論理の展開や概念の抽象化に必要な基礎知識を身につける。これにより、論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の基盤を形成する。	○	○								◎					○		◎			
専門科目	情報科学科	1年次	必修	INIC1102	線形代数学 I	2	講義	線形代数学I, IIを通じ、ベクトル、行列、連立一次方程式、行列式、固有値と固有ベクトル、線形空間などの概念を学習し、数学的な論理の展開や概念の抽象化に必要な基礎知識を修得する。これにより、論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の養成の基盤を形成を行うことが本科目の目的である。	○	○								◎	○				○		◎			
専門科目	情報科学科	1年次	必修	INIC1103	線形代数学 II	2	講義	線形代数学I, IIを通じ、ベクトル、行列、連立一次方程式、行列式、固有値と固有ベクトル、線形空間などの概念を学習し、数学的な論理の展開や概念の抽象化に必要な基礎知識を修得する。これにより、論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の養成の基盤を形成を行うことが本科目の目的である。	○	○								◎	○				○		◎			
専門科目	情報科学科	1年次	必修	INIC1104	集合・確率	2	講義	集合論・確率論についての概念を理解し、情報の分析、論理的思考、理解力、表現力、問題解決能力の養成が出来る様になる	◎										○	○				◎			○	
専門科目	情報科学科	1年次	必修	INIC1105	グラフ理論	1	講義	グラフ理論についての基礎事項を身に着け、使いこなせるようになる。	◎												○				◎			○
専門科目	情報科学科	1年次	必修	INIC1106	数理論理 I	1	講義	数理論理学における命題論理、ブール代数、述語論理、標準形の概念を理解できるようにする。	◎												○				◎			○
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2101	情報理論	2	講義	情報量、エントロピー、情報源符号化定理、通信路符号化定理などの概念を理解し、情報理論の基礎を身につけ、理論を応用できるようになる。これにより、情報の分析能力および論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の基盤を形成することができる。「情報」を数量としてあつうエントロピーを学び、シャノンが導いた「情報源符号化定理」、「通信路符号化定理」などを習得することができる。		◎											○			◎				○
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2102	アルゴリズムとデータ構造	2	講義	スタック、キュー、リスト、木、探索と整列、計算量などの概念を講義するとともに、講義に即したプログラミング演習を併設することによりプログラミング能力を養成する。これにより、学生は、情報システムの開発・設計・分析に必要な基礎知識と、それを活用するプログラミング基礎能力を身につける。			○								○	△		◎	△		○		○	◎
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2103	論理回路	2	講義	2進論理の代数を基礎に、回路設計・回路解析ができることを目指す。本講義では次のことを目標とする。(1)ブール代数の基本的な理論を理解し活用できる。(2)論理式を整形・簡略化し組合せ論理回路の解析・設計ができる。(3)状態遷移図の整形・簡略化を行い各種フリップフロップを用いて同期式順序回路の解析・設計ができる。		◎									○			○			◎		○	
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2104	プログラミング方法論	2	講義	分析工程、設計工程、プログラム開発、テスト、オブジェクト指向などの概念を理解し説明できるようになる。そして、検査・変更・拡張が容易なプログラムを作成する方法論を理解し、大規模かつ良質なプログラムを作成する基礎を身につける。これにより、ソフトウェアおよびシステム科学技術の修得と、情報システムの開発・設計・分析能力を形成する。		○											○				○			
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2105	コンピュータアーキテクチャ I	2	講義	コンピュータの構造、命令形式、アドレッシング、サブルーチン、割り込み、パイプラインアーキテクチャなどの概念を身につける。また、ソフトウェア側から見たCPUの構造と機能が説明できるようにする。		◎										○					◎		○	
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2106	オートマトンと言語理論	2	講義	正規表現、有限オートマトン、文脈自由文法、プッシュダウンオートマトン、チューリングマシン、0型文法についての基礎知識を身に付ける。		◎											○				◎			○
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2107	コンピュータネットワーク	2	講義	コンピュータネットワークに関する体系的な知識と実践的な技術の両者を習得することを目標とする。基本的なネットワークの観測と分析ができるようになることを目指す。		◎									○			○			◎			○
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2108	モデリング	1	講義	実世界をコンピュータ上でシミュレーションするために必要な様々なモデリング手法に関する知識を得るとともに、モデルの精度と複雑性のトレードオフなど、実際にモデリングを行う際に注意すべき事項を理解できるようにする。		◎									○			○			◎		○	○
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2109	人工知能概論	2	講義	人工知能(AI: Artificial Intelligence)という言葉が表す学問分野は大変幅広い。ここでは人工知能の黎明期から現在に至る様々な技術在具体例を通して学び、機械学習をはじめとする人工知能関連技術の全体像を把握できるようにする。		◎	○										○		○		◎			○
専門科目	情報科学科	2年次	必修	INIC2110	信号処理基礎	2	講義	連続信号と離散信号、標準化定理などの概念について習得し、信号処理の基礎を身につける。連続したデータをコンピュータの中でどのように効率的に過不足なく保持し処理できるかについての知識と技術を習得することが目的である。		○										◎		○			○		◎	○
専門科目	情報科学科	3年次	必修	INIC3101	情報科学実験A	2	実験	コンピュータネットワーク、ネットワークプログラミング、オペレーティングシステム、データベースシステム論等で習得した知識と技術を応用し、実際に多層構造のWebシステムを構築することでシステム開発の側面からの各種ボトルネック要因等の理解を促し、対応できる技術を身に着ける。		◎									○			○			◎		○	○

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4		
専門科目	情報科学科	3年次	必修	INIC3102	計算機アーキテクチャⅡ	2	講義	コンピュータの構造、命令形式、アドレッシング、割り込みなどの概念を理解し、各種ビルディングブロックの詳細設計に関して学習することにより、ハードウェア側から見たCPUの構造と機能についての知識を身に付ける。	◎														◎					
専門科目	情報科学科	3年次	必修	INIC3103	機械語と計算機械	2	演習	計算機アーキテクチャの演習科目として機械語命令の実習を行う。これを通して、チューリングマシンとしてのコンピュータの動作原理を理解し、説明できるようになる。	○									○				○	◎	○	○	◎		
専門科目	情報科学科	3年次	必修	INIC3104	オペレーティングシステム	2	講義	計算機システムにおいて、オペレーティングシステム(OS)は欠くことのできない重要なソフトウェアである。オペレーティングシステムの役割に関して、プロセス管理、メモリ管理、ファイルシステムなどの仕組みを理解できるようになる。これにより、コンピュータの原理およびシステム科学技術の修得と、情報システムの開発・設計・分析能力の基盤を形成できる基本的なテクノロジーを理解し、様々なシステムの開発へ活用できるよう基礎能力を身に付ける。	◎									○	○				◎		○	○		
専門科目	情報科学科	3年次	必修	INIC3105	情報科学実験B	2	実験	システムプログラムとしてコンパイラやオペレーティングシステムを取り上げる。その機能の全部または一部を実装することによって、CPUの機能及び構造をソフトウェアの側面から理解するとともに、システムプログラムの開発を通して実践的なプログラミング能力を身に付ける。										○	○			○	◎		○	◎		
専門科目	情報科学科	3年次	必修	INIC3106	情報科学実験C	2	実験	情報科学分野の特にハードウェア分野に焦点を置き、組合せ回路や順序回路を設計し、実現した回路の観測を行う。設計したパーツを組合せて教育用プロセッサの論理設計・実装を行い、実験を通してプロセッサに関する理解を深める。実験の計画、実施、実験結果の記録、報告書の作成など基本的な実験・記録方法を身に付ける。	◎										○	○		○	○	◎		○	○	
専門科目	情報科学科	4年次	必修	INIC4101	卒業研究	6	演習	指導教員による最新の研究テーマによる実践的研究に携わることにより、情報学における専門的知識の統合化を図るとともに、実践的な問題解決能力を涵養する。さらに、研究の遂行を通して、種々の制約の中から実現可能な解を見出して実践する能力、研究の遂行に関して自らスケジュールを立てて計画的に実行する能力、研究の成果を卒業論文に取りまとめ、成果の骨子を分かりやすく説明するためのプレゼンテーション能力を身に付ける。	△									△	△	△	○	◎	○				◎	
専門科目	情報科学科	1年次	選択必修	INIC1207	微分積分学Ⅱ	2	講義	線形代数Ⅱを通じ、ベクトル、行列、連立一次方程式、行列式、固有値と固有ベクトル、線形空間などの学習項目を受講し、数学的な論理の展開や概念の抽象化に必要な基礎知識を身に付ける。これにより、論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の基盤を形成する。	○	○								◎	○				○		◎			
専門科目	情報科学科	1年次	選択必修	INIC1208	数理論理Ⅱ	1	講義	ゲンツェンのシーケント計算を用いて、命題論理と1階の述語論理の証明論に関する基礎知識を身に付ける。	◎												○		○	◎			○	
専門科目	情報科学科	1年次	選択必修	INIC1209	認知科学	2	講義	人間の認知能力に対する理解と関心を得ると共に、情報科学と人間の認知能力の接点と融合点を発見する力を身に付ける事ができる。	○										◎		○			○	◎	○		
専門科目	情報科学科	2年次	選択必修	INIC2211	符号理論	2	講義	本科目は数学系科目・数理系科目に属しており、情報代数を原理とした通信路符号化、誤り訂正手法、暗号化技術などについての専門知識に身に付ける。	◎												○			◎			○	
専門科目	情報科学科	2年次	選択必修	INIC2212	データベースシステム論	2	講義	ER図を用いた対象世界のデータモデリングが行えるようになる。概念モデルからリレーショナルデータモデルを適切に構築できるようになる。データベースのCRUDと各種の問い合わせをSQLにより実装できるようになる。標準アーキテクチャを理解し、3層スキーマを説明できるようになる。問い合わせ最適化法を理解し、インデックスの効用を説明できるようになる。トランザクション処理を理解し、障害復旧と同時処理の仕組みを説明できるようになる。	◎													○			◎			○
専門科目	情報科学科	2年次	選択必修	INIC2213	デジタル信号処理	2	講義	AD/DA変換、FFT、差分方程式などの概念を講義し、デジタル処理がアナログ処理を如何に近似することができるのかを学習する。これにより、情報の表現・分析能力の修得と、情報システムの開発・設計能力を習得することが目標である。	○										◎			○		○	◎		○	
専門科目	情報科学科	2年次	選択必修	INIC2214	応用プログラミングA	1	演習	種々の乱数の作り方、モンテカルロ法、待ち行列、ダイクストラ法、最大流量アルゴリズムなどの概念を理解すると共に、これらのアルゴリズムを用いたプログラミング能力を身に付ける。	◎												○		○	◎			○	
専門科目	情報科学科	2年次	選択必修	INIC2215	応用プログラミングB	1	演習	数値解析における誤差の発生と伝搬、数値積分、微分方程式の数値解法、最急降下法、動的計画法、線形計画法などの概念を理解すると共に、これらに関するプログラミング能力を身に付ける。	◎												○		○	◎			○	
専門科目	情報科学科	2年次	選択必修	INIC2216	応用プログラミングC	1	演習	マージソート、ヒープソート、文字列検索、オートマトンと正規表現、バックトラックなどの概念を講義するとともに、講義に即した演習を併設することによりプログラミング能力を養成する。これにより、情報システムの開発・設計・分析能力の基盤を形成することが本科目の目的である。	○										○	△		◎	△	○		○	◎	
専門科目	情報科学科	2年次	選択必修	INIC2217	計算理論	1	講義	チューリング機械の停止性問題、多項式時間限定チューリング機械、計算量クラスP、NP、NP完全問題などの概念を理解する。これにより、計算可能性と計算複雑性についての基礎知識を身に付けることで、ソフトウェア・システム開発などにおける普遍的な指針を得ることを目的とする。	◎										○			○		◎		○	○	
専門科目	情報科学科	2年次	選択必修	INIC2218	コンパイラ	2	講義	言語理論・計算理論の考え方をコンパイラ設計開発という応用事例を通して理解できるようになる。また、コンパイラ設計開発に用いられる言語処理アルゴリズムについて理解できるようになる。その中で、計算可能な言語クラスを設定して有用なソフトウェアを提案するという工学的アプローチを理解できるようになる。また、言語の要換系としてコンパイラを捉え、字句解析プログラム、構文解析プログラム、およびコード生成の基本的な考え方を理解できるようになる。	◎										○			○			◎		○	○
専門科目	情報科学科	2年次	選択必修	INIC2219	知能科学	2	講義・演習	実世界の連続的かつ非記号的な信号の取り扱いを通して、それらを高度な知的処理に利用するための原理と方法を科学的に説明でき、かつ実践応用できるようなことが目的である。被説明項目として、ニューラルネットワーク、深層学習、機械学習、ベイズ統計といった知能の実装方法から、センシング、画像処理といった時系列の概念も含む物理世界の知覚まで幅広く取り上げる。	◎											○		○		◎				
専門科目	情報科学科	3年次	選択必修	INIC3207	ネットワークプログラミング	2	演習	計算機ネットワークの基礎事項を実装レベルで再確認し、サーバサイド・クライアントサイドの両者において通信を行う基本的なアプリケーションの設計・開発ができるようになる。	◎												○		◎		○	○		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4	
専門科目	情報科学科	3年次	選択必修	INIC3208	機械学習	2	講義	サポートベクターマシン、隠れマルコフモデル、深層学習、強化学習などの機械学習の主要な手法について理解できるようになる。また、統計的学習理論の基礎的な概念を理解できるようになる。与えられたタスクを実行するためのモデルを経験(データ)から学習する機械学習の基礎を理解し、さまざまな問題に適用する力をつける。統計的学習理論(STL)の基礎概念であるPAC学習、VC次元、ラマッハ複雑性等を学び、汎化誤差を評価するための理論的枠組みを理解できるようになる。	◎										○	○			◎		○	○	
専門科目	情報科学科	1年次	選択	INIC1310	統計学入門	2	講義	行動情報科学科のカリキュラムにおいてデータサイエンス系コア科目の入門編として、データ解析に必要な基本的な知識や考え方を身に付ける。また、記述統計学・推測統計学の基本的な考え方を身に付け、得られたデータを解析・整理・要約し、データを分析して母集団における状況を推測できるようになる。		○								○	◎				○		◎		
専門科目	情報科学科	2年次	選択	INIC2320	多変量解析	2	講義	行動情報科学科データサイエンス系コア科目群の中でも、後続科目を学ぶ上での基盤となる科目である。各個体や対象に対して、複数の特性について観測されたデータに基づき、各特性間の相互関連性を分析するための手法は多変量解析手法とよばれる。本講義はその入門と位置づけられる。本授業では統計学的理論と実際のデータへの適用例の両面から各手法を解説し演習を多く取り入れることで、学生は多変量解析法の基本的な考え方について理解し、実践できるようになることを目標とする。		○										◎	○			○		◎	
専門科目	情報科学科	2年次	選択	INIC2321	先端情報学実習Ⅰ-a	2	実習	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲を持った学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。												○	◎		○		○	◎	
専門科目	情報科学科	2年次	選択	INIC2322	先端情報学実習Ⅰ-b	2	実習	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲を持った学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。												○	◎		○		○	◎	
専門科目	情報科学科	2年次	選択	INIC2323	知能情報システム開発Ⅰ	2	講義	知的情報システムにおいてデータの解析や推測、サービスを実行するツールの作成には、機械学習に代表される汎用的な手法の利用と同時に、各個々のデータとそのデータの分野に応じた専門知識を踏まえた上で、人間の知恵と工夫が重要である。本講義では、最先端の研究・産業応用を事例に、他所では学ぶことが難しい、直観的な理解と応用までつながった実用的な知識の使いこなしを学習する。具体的には、機械学習手法の直観的理解、評価手法、各分野での適用方法、モデルの違いと限界を習得し、個別の課題で応用していくための基礎を身に付ける。	○	◎											○			◎			○
専門科目	情報科学科	2年次	選択	INIC2324	社会モデル	2	講義	社会や経済を分析するためにさまざまなモデルが使われていることを知り、それらのモデルの意味を理解、活用できるようにする。											○	◎	○					◎	
専門科目	情報科学科	2年次	選択	INIC2325	サイバーフィジカルシステム基礎	1	講義	エネルギー、運動量、ニュートン方程式、温度、圧力、エントロピー、電磁場、電磁波などの概念と共に、現実世界の物理量を計算機環境で適切に処理するためのサイバーフィジカルシステムを理解し、設計するための知識と技能を習得することを旨とする。	◎											○				◎			○
専門科目	情報科学科	2年次	選択	INIC2326	情報と法	2	講義	前半は、表現の自由、プライバシー権、知的財産権等を重点的に取り上げ、情報活動に関する主な法規制の手法を学習させる。前半の知識を補充しつつ、後半は、立法、行政、司法及び法実務の情報化とその課題を通じて、情報活動の諸ルールを検討する能力を養うことを目的とする。			◎					◎											
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3309	創造的プログラミング	2	演習	プログラミングの学習に意欲を持つ学生に、最先端のプログラミング技術を議論する場所を提供し、自主的・創造的なプロジェクトを推進することでプログラミングに対する意欲をさらに高め、スキルを磨くことができる。												○	◎				○	◎	
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3310	記号処理	2	講義	知識処理システムを構築する際に有用とされる記号処理プログラミングの方法を身に付ける。記号処理の必要性についての説明ができるようになる。代表的な記号処理言語であるLISP・Prologについて基礎的な文法から具体的なプログラミング技法までを身に付ける。最終的に、小規模な知識システムのプログラミングができるようになる。	○												◎		○	○			◎
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3311	経営管理	2	講義	①企業経営における経営管理及び業務管理の概要を理解する。②情報技術の発展に伴う管理形態の概要・発展・変遷を理解する。③①②を通して、情報化社会における職業観・勤労観を身に付ける。		○											○	◎		○		○	◎
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3312	パターン認識	2	講義	パターン認識とは、観測されたパターンをそれが属すべき概念のうちの一つに分類する処理のことである。本科目では、パターンの入力から識別に至るまでの一連の処理過程を習得することにより、パターン認識における基本的な概念や技術を身に付ける。	◎												○	◎		◎			○
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3313	システム要求分析設計	2	講義	構造化分析、構造化設計、オブジェクト指向分析・設計、CASEツールなどの技術を理解し説明できるようになる。要求分析、仕様記述、仕様記述、システム設計、モデリング、検証などの諸概念を理解し説明できるようになる。これにより、ソフトウェアおよびシステム科学技術を修得し、情報システムの開発・設計・分析能力を形成することができる。	○											○	○			○			
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3314	人間情報活用論	2	講義	人間情報科学における人間の認知と行動の関係を理解し、人間がもつ知的能力と人工知能に象徴される情報システムとのコラボレーションに関する専門的知見を身に付ける。												○	○	◎		○		○	◎
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3315	先端情報学実習Ⅱ-a	2	実習	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲を持った学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。												○			◎	○		○	◎
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3316	情報科学演習	1	演習	卒業研究準備のための演習を実施し、文献調査方法、英語論文読解能力、プレゼンテーション技法、等を身に付ける。						△					◎	○			○			◎	○
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3317	ヒューマンインタフェース及び演習	2	講義・演習	人間にとって望ましいヒューマンインタフェースを実現するための技術と実装方法を理解できるようになる。日進月歩の情報通信技術、ヒューマンサイエンス、システムデザインが統合的に関わっており、人間と機器システムの界面としてのインタフェースに加えて、ハードとソフトを融合した価値的創出を対象とする。人間という観点で情報技術を考える本講義と実践的演習を通じて、ヒューマンインタフェース設計の多面的な力を身に付ける。												◎	○			○		◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4	
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3318	先端情報学実習Ⅱ-b	2	実習	学部教育課程の早期から先端の情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。											○		◎	○			○	◎	
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3319	分散並行アルゴリズム	2	講義	分散処理、並行処理、並列処理の違い、通信量を考慮した部分問題への分割と計算ユニットへの割り当て戦略などの基本的概念を理解する。また、代表的で具体的なアルゴリズムについて演習を通して実践的に身に付ける。これらを通して、アルゴリズムや割り当て戦略の違いが計算時間に及ぼす影響について理解する。	◎										○				◎		○	○	
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3320	インターンシップCS-A	2	実習	情報学部で学んだ知識の深化・授業で得た知識が活用されている場を活用し深められるようになる。キャリア形成：礼儀、約束、コミュニケーション等の重要性を体験し、社会人の行動方法を理解できるようになる。進路選択へのきっかけ、準備：就職活動そのものではない。採用直結型のインターンシップを行っている企業もあるが、ここでは対象外とする。企業組織や業務について理解できるようになる。													◎		○				◎
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3321	インターンシップCS-B	1	実習	情報学部で学んだ知識の深化・授業で得た知識が活用されている場を活用し深められるようになる。キャリア形成：礼儀、約束、コミュニケーション等の重要性を体験し、社会人の行動方法を理解できるようになる。進路選択へのきっかけ、準備：就職活動そのものではない。採用直結型のインターンシップを行っている企業もあるが、ここでは対象外とする。企業組織や業務について理解できるようになる。													◎		○				◎
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3322	ソフトウェア品質管理	2	講義	プロジェクトのリスク管理戦略の一環として効果的にテストを実施する方法(リスク分析、テスト計画、分析と設計、実行)を理解し説明できるようになる。具体的な事例に対してその方法を適用し、テスト計画の作成、テストケースの設計、テストの実行ができるようになる。品質の定義と測定・改善の方法について理解し説明できるようになる。	○											○		○		○			
専門科目	情報科学科	3年次	選択	INIC3323	Basic SecCap演習	1	演習	HTTPサーバを題材に、パフアオーバーラン攻撃に関する実習を行う。マルウェアやサイバー攻撃を題材に、インシデントレスポンスに関する実習を行う。これらを通して、サイバーセキュリティにおける攻撃技術と防御技術の基礎を身に付ける。	◎								○				○			◎	○		○
専門科目	情報科学科	4年次	選択	INIC4302	先端情報学実習Ⅲ-a	2	実習	学部教育課程の早期から先端の情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。												○		◎	○			○	◎
専門科目	情報科学科	4年次	選択	INIC4303	先端情報学実習Ⅲ-b	2	実習	学部教育課程の早期から先端の情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。												○		◎	○			○	◎

令和2年度～令和5年度入学生用 カリキュラム・マップ

情報学部 情報社会学科

(令和3年3月4日更新)

学位	学士(情報学)							ディプロマ・ポリシー(DP)																			
	付属情報 強く該当するところ◎、該当するところ○、その他関係するところ△							1. 専門知識			2. 情報倫理、コミュニケーション能力				3. 論理的思考力			4. 実践力			(中区分別の該当状況)						
								情報科学についての知識	行動情報学についての知識	情報社会学についての知識	国際化及びグローバル化についての理解	英語の性質、理解、運用能力	異文化コミュニケーションにおける問題理解・解決	利害、興味、文化、国を越えた人との協調・交渉	情報取扱のモラル、マナー、セキュリティスキル	状況を認識するための必要な情報の収集	情報と知識を認識した状況分析・論理的考察	解決すべき社会的・技術的課題の発見・理解	専門知識・能力を活用した解決策の導出	解決策についての説得力ある発表・文書化	解決策の実施・実現・評価・考察	1. 専門知識	2. 情報倫理、コミュニケーション能力	3. 論理的思考力	4. 実践力		
大区分	中区分	小区分	必修選択	科目NO	授業科目	単位	開講種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4	
専門科目	情報社会学科	1年次	必修	INS1101	メディア・コミュニケーション論	2	講義	メディア・コミュニティ系の諸科目の基本概念である「言語」、「文化」、「コミュニケーション」の学問的な分析視座を身につける。また、それを通して、これらの概念が、それぞれ情報流通における媒体、背景、プロセスに相当し、情報を扱う生物としての人間の社会形成と密接に関係してきたことを学ぶ。			◎	○	○						△					◎	○		
専門科目	情報社会学科	1年次	必修	INS1102	パブリック・コミュニティ論	2	講義	「ソサエティノ公共」「ライフノコミュニティ」の観点から、情報化する現代社会の実態、問題、可能性についての理解と思考力を身につける				○												○	◎		
専門科目	情報社会学科	1年次	必修	INS1103	メディア・リテラシー	2	講義	コミュニケーションの特徴を情報技術を用いて可視的なものにし、コミュニケーションへの理解を深め、その活性化を促す仕組みを築く力を身につける。また、そのような作業を通じて、自らのコミュニケーション力を高め、必要な情報技術を身につけていく。情報技術の活用がコミュニケーションの活性化をどのように導くか、また、コミュニケーション活性化のための考察が情報技術の発展をどのように促すか、といったことを考える力を身につけると同時に、コミュニケーション実践力を身につける。			○	◎												◎		○	
専門科目	情報社会学科	1年次	必修	INS1104	統計学入門	2	講義	行動情報学のカリキュラムにおいてデータサイエンス系コア科目の入門編として、データ解析に必要な基本的な知識や考え方を身につける。また、記述統計学・推測統計学の基本的な考え方を身につけ、得られたデータを解釈・整理・要約し、データを分析して母集団における状況を推測できるようになる。			○							○	◎					○		◎	
専門科目	情報社会学科	2年次	必修	INS12101	社会調査法	2	講義	本講義では、社会調査の代表的な手法である、量的調査法と質的調査法を学ぶことを通じて、社会調査の基本的な技法やマナーを習得することができる。受講生は、グループワークを通して、主体的に社会調査の設計と実践に取り組み、集計、発表、報告書執筆などで調査の一連のプロセスを経験し、スキルを身につけることができる。				△				△		◎	△	△		○		○	○	◎	○
専門科目	情報社会学科	3年次	必修	INS13101	情報学方法論演習	2	演習	情報学の基礎的な学習から次第に専門的な領域に踏み入り、さらに卒業研究へと展開、発展させる階梯におかれた特別な授業である。この授業は、各学科毎に開講され、学科担当教員の個性的で専門的な情報学の紹介・入門的な授業を受けることで、情報学の専門的深さと多様さ・広がりを知る。			○								◎	○				○		◎	
専門科目	情報社会学科	3年次	必修	INS13102	情報社会学演習Ⅰ	2	演習	少人数による研究指導型の演習を通じて、情報学における特定の領域を深く分析することができるようになる。					△					◎	○			○				◎	○
専門科目	情報社会学科	4年次	必修	INS14101	情報社会学演習Ⅱ	2	演習	少人数による研究指導型の演習を通じて、情報学における特定の領域を深く分析することができるようになる。					△					◎	○			○				◎	○
専門科目	情報社会学科	4年次	必修	INS14102	情報社会学演習Ⅲ	2	演習	少人数による研究指導型の演習を通じて、情報学における特定の領域を深く分析することができるようになる。					△					◎	○			○				◎	○
専門科目	情報社会学科	4年次	必修	INS14103	卒業研究	6	演習	指導教員による最新の研究テーマによる実践的研究に携わることにより、情報学における専門的知識の統合化を図るとともに、実践的な問題解決能力を涵養する。さらに、研究の遂行を通して、種々の制約の中から実現可能な解を見出して実践する能力、研究の遂行に関して自らスケジュールを立てて計画的に実行する能力、研究の成果を卒業論文に取りまとめ、成果の骨子を分かりやすく説明するためのプレゼンテーション能力を身につける。				△				△	△	○	◎	△	△	○				◎	○
専門科目	情報社会学科	1年次	選択必修	INS11205	社会調査論	2	講義	社会調査の意義、社会調査史、社会調査の目的、調査方法論、調査倫理などに関する基本的事項と社会調査の具体的な事例について学ぶことを通じて、社会調査とデータ処理に関する基礎的な知識を習得する。				○						○	◎	○					○	◎	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択必修	INS12202	データとプログラミング	2	講義	情報社会学の学習に必要なデータの扱い方、計算機利用技術、及びプログラミング技術の基礎を身につける。また、データを扱う汎用アプリケーションを有効に活用できるスキルを身につける。			○								○			◎	○			○	◎
専門科目	情報社会学科	2年次	選択必修	INS12203	Webデザイン	2	講義	新しい情報メディアの出現が我々に何をたらすか理解して、情報メディアの新しい利用形態と情報表現の様々な手法を身につける。そのために、Webデザインを通して、さまざまなメディアの特性を実感・理解し、マルチメディア情報の収集・編集・発信・評価を理解・取得する。			○								○				◎	○		○	◎
専門科目	情報社会学科	2年次	選択必修	INS12204	都市環境デザイン	2	講義	都市とそこにおける特徴的な諸問題について情報学の観点を交えて理解することができ、都市モデルや地理情報システム(GIS)の基礎知識をもとに今後の都市環境デザインを考えることができる。				○				△			△	◎	○	△		○		◎	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択必修	INSI2205	地理情報システム	2	講義	空間的視点の有用性を理解し、実習を通して空間統計データと地理情報システム(GIS)の基礎技能を身につけるとともに、現実の地域分析への応用を目指す。			△				△		○	◎	△	○					◎	○		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択必修	INSI2206	社会モデル	2	講義	社会や経済を分析するためにさまざまなモデルが使われていることを知り、それらのモデルの意味を理解、活用できるようにする。										○	◎	○						◎		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択必修	INSI2207	メディア文化論	2	講義	メディアと文化現象(社会)の関係の多様性・多元性を理解することを目的とする。授業はワークショップ形式など、履修者の参加を前提とする。担当教員が個々の専門分野に応じたメディアやコンテンツ(例えば、さまざまな時代や地域で制作された広告、映画、ドキュメンタリー、音楽、雑誌、ウェブサイトなどを分析の対象とし、それらが制作・発表された当時の社会、経済、文化をどのように反映し、またそれらにどのような影響を与えたのかを考察していく)。			○						△		◎	◎	○	△		○		◎	○	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択必修	INSI2208	コミュニケーション・メディア史	2	講義	コミュニケーション・メディアの歴史を学ぶには、通史的な理解が不可欠である。人類史的な、特殊日本における、そしてグローバル化の進展という中での、古代から現代までのコミュニケーション・メディアの発展を講述する。こうした通史的、特異的、比較してきな授業の展開のなかで、個々の受講生が、メディアと社会構造の因果関係について説明できるようになることが、授業の目標である。				○	○						◎							○		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択必修	INSI2209	言語コミュニケーション論	2	講義	言語コミュニケーションを中心に、記号的コミュニケーションの分析的理論を学ぶことで、コミュニケーションデザインのための基礎を獲得する。特に自然言語の特性とその使用に焦点を当て、自然言語がどのような特性を持つ体系であるのか、また、我々は自然言語をコミュニケーションにおいてどのように利用しているのかといった事柄について理解を深めることを目標とする。				○							○	◎				○		◎		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択必修	INSI2210	異文化コミュニケーション論	2	講義	この授業では、文化とは何か、異文化間の価値観の違い、コミュニケーションのメカニズム、文化によるコミュニケーションスタイルの違いなどに対する理解を深める。また、異文化間のコミュニケーション活動をよりスムーズに行うための、実践力を養う。				○	△			◎	○							○	◎			
専門科目	情報社会学科	2年次	選択必修	INSI2211	ICT経済論	2	講義	現在のさまざまな経済活動において、情報やネットワークがどのような影響を与えているかについて理解できるようにする。		○	◎											○		◎		○		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択必修	INSI2212	情報管理社会論	2	講義	「情報管理社会」としての現代社会に対する分析の視点・知識を習得するとともに、的確な問題意識・批判力を獲得する。											○	◎	○					◎	○	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択必修	INSI2213	地域コミュニティ論	2	講義	コミュニティは共同体とも訳されるように、人間集団や社会・文化の成立、歴史と深く関わる概念である。授業では、情報化が進む現在も、コミュニティに改めて注目が集まる理由や背景を、社会変動、社会科学のコミュニティの理論や方法を踏まえて学ぶことができる。また、地域コミュニティの実態分析や現場調査の方法について、災害、家族、地域社会、祭り、市民協働、NPO、職場といった具体例を通して、考えることができる。これらに基づき、日常的には漠然と使用している「コミュニティ」や自らの「コミュニティ」活動を意識化・相対化し、情報社会においてコミュニティをデザインするための観点や方法を学び身につけることができる。			△	△		△	○	△	△	△	◎	◎	○	△	△		○	○	◎	○
専門科目	情報社会学科	2年次	選択必修	INSI2214	情報・コミュニティ論	2	講義	情報という観点からコミュニティを考察することにより、近代以降の社会に現れた様々なコミュニティの理解を深める。情報通信技術の発展や情報の流通形態に生じた変化が社会に及ぼす影響、たとえば産業構造や職業構成の変容などを歴史的かつグローバルな視点から捉え直し、特定の場所や地域との結びつきが希薄化した脱領域的なコミュニティの現状・課題・可能性について検討するための知識・理解力・想像力を習得する。								△							○		◎	○		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択必修	INSI2215	メディア読解演習	1	演習	メディアの社会的・文化的役割について理解を深めるとともに、メディアに関連する社会的・文化的・思想的問題の広範さと、メディアに対するアプローチや方法論の多様さを学習する。			◎								○	△	○			◎		○		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択必修	INSI2216	言語コミュニケーション演習	1	演習	人間の言語や言語によるコミュニケーション行為を具体的に分析し、情報伝達の媒介となる言語の仕組みや構造、また文化社会的関わり等について理解を深めるとともに、言語コミュニケーションの実践的能力を身につける。			○								◎		○					◎	○	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択必修	INSI2217	情報倫理演習	1	演習	ディベートやディスカッションを通じて、情報社会における人間性や社会的正義といった価値的な問題に対する理解力を養い、こうした問題に配慮しながら価値観の異なる他者と協力して情報社会を批判・デザインしていく力をつける。								△	◎		△	△	○	△			◎	△	○	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択必修	INSI2218	地域コミュニティ演習	1	演習	本演習は「地域コミュニティ論」の演習科目であり、受講生は、「地域コミュニティ論」で学んだ内容を深めると同時に、主体的に地域コミュニティデザインを実践する上で必要な諸能力(現状把握・分析能力、課題発見・解決能力、立案能力、コーディネート・コミュニケーション能力)を身につけることができる。			△	△		△	○	△	△	△	◎	◎	○	△	△		○	○	◎	○
専門科目	情報社会学科	3年次	選択必修	INSI3203	メディア制作演習	1	演習	「メディア文化論」の内容をふまえて、学生個々人の社会に対する関心を抽出し、それにもとづいて制作および研究を行う。その際、ターゲット、社会の動向、世論、潜在的なニーズなどを読み解き、分析したうえで、トローラー、ポスター、音声情報(ラジオ番組)、記事、ウェブサイト、フリーペーパー、パンフレット等の制作に携わり、メディア制作を通して主体的に社会に参画する意識を身に付ける。			△							△				○	○	◎			◎	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択必修	INSI3204	異文化コミュニケーション演習	1	演習	価値観の違いから発生する異文化間コミュニケーションの多様な摩擦事例について得た知識を出発点として、その発生の根源・理由について多角的な視点から説明し、発表する等の実践力を身につける。				△			◎	○									◎		○	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択必修	INSI3205	公共政策演習	1	演習	情報社会の活動舞台としての都市や地域などを対象に、公共政策に関して課題を発見し考察する調査・分析能力と、それに基づき解決策を考案する思考力を身に付ける。			△				△		△	○	◎	△	△	○			◎	○	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択必修	INSI3206	情報・コミュニティ演習	1	演習	情報という観点からコミュニティを考察することにより、近代以降の社会に現れた様々なコミュニティの理解を深める。情報通信技術の発展や情報の流通形態に生じた変化が社会に及ぼす影響を歴史的かつグローバルな視点から捉え直し、特定の場所や地域との結びつきが希薄化した脱領域的なコミュニティの現状・課題・可能性について検討するための知識・理解力・想像力を習得する。							△			◎	○			○			◎	○	
専門科目	情報社会学科	1年次	選択	INSI1306	ジャーナリズム論	2	講義	本講義は、近代社会の営みとしてのジャーナリズム現象の実態と、その果たしている役割について総合的な理解を深め、履修者がそれぞれ自分なりのジャーナリズム概念を構築することを目標とする。ジャーナリストを養成するための授業ではないが、学習の結果として自らをジャーナリストたらしめる可能性は否定しない。			◎					△		○		○	△		◎		○	○	
専門科目	情報社会学科	1年次	選択	INSI1307	グローバル化と社会	2	講義	「グローバル化」という言葉がすでに10数年飛び交っている。と同時に、「反」グローバル化の言説を装った排外主義が日本をはじめ米国や欧州に拡大している。本講義の目的は、グローバル化を歴史的に検討することによって、日本社会における「グローバル化」の言説状況を理解し批判的に検討する視点を獲得し、排外主義が生まれる「南部のシレンマ」と呼ばれる現状を理解したい。				◎				○				○						○	
専門科目	情報社会学科	1年次	選択	INSI1308	博物館概論	2	講義	博物館史、博物館の現状等から、博物館が、近・現代社会においてどのような社会的役割を果たしているのか、また博物館において果たすべき学芸員の使命・職務内容等について理解を深める。			◎							○	○					◎		○	
専門科目	情報社会学科	1年次	選択	INSI1309	博物館展示論	2	講義	展示とは何かについての展示史、メディア論的な立場からの理解や、日本の博物館における展示イベントの現状と課題についての認識を深めるとともに、博物館における展示の実際について具体的に知り、展示企画の立案、展示の具体的運営に関する基礎的な実践経験を積む。								◎					○	○			◎		○
専門科目	情報社会学科	1年次	選択	INSI1310	博物館情報・メディア論	2	講義	情報機関としての博物館のあり方、博物館における情報管理、発信のあり方を理解するとともに、そのための視覚教育メディアの活用方法に関する基礎的な能力を身につける。									○			◎					◎	○	
専門科目	情報社会学科	1年次	選択	INSI1311	認知科学と行動情報	2	講義	情報は、物理力だけでなく意味作用を通じて世界を変化させ、そこに価値と秩序を与える。このような情報の利用に関わる体系的な知識を獲得するために、コンピュータなどの電子機器における情報と人間の認知活動を踏まえた社会的コミュニケーションに現れる情報との間の関係（共通点と相違点）を捉える枠組みを獲得することを旨とする。特に、この枠組みを認知科学の観点から学習し、行動情報学における後続科目が取り扱う諸問題を考える基盤を構築する。			◎									○	○			◎		○	
専門科目	情報社会学科	1年次	選択	INSI1312	社会公共システム論	2	講義	公共サービスの提供を支えている情報システムの導入経緯、概要、意義、そして課題を学習することで、社会構造という側面から情報社会を分析するための基本的な知識、視点を身につける。			◎	○					○							◎	○		
専門科目	情報社会学科	1年次	選択	INSI1313	マネジメント思考	2	講義	現代の世の中では、与えられた問題を効率的に解くだけでは不十分で、自らゴール・目標を設定し、それに至るための問題を自ら定義し、解決策を探っていく能力が求められる。本講義では、マネジメントに関する入門レベルの理論を踏まえたうえで、情報システムによる経営課題の解決を念頭に、問題の発見・定義・解決・検証の一連のプロセスについて学ぶ。													◎	○			○	◎	○
専門科目	情報社会学科	1年次	選択	INSI1314	コンピュータネットワーク基礎	2	講義	OSI7階層モデル、プロトコル、フロー制御、ルーティング、TCP/IPなどの概念を身につけ、ネットワーク技術の基礎理論を修得する。これにより、コンピュータの原理およびシステム科学技術の修得と、情報システムの開発・設計・分析能力の基盤を形成することができる。本講義では、計算機ネットワークで使われる技術の本質を深く理解し、将来の計算機ネットワークがいかにあるべきかを考える力を養うことができる。			◎											○		◎			○
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2319	メディア分析	2	講義	具体的なメディア・コンテンツを対象として、言語・記号論的観点、また社会・文化論的観点から分析し、そのメディアの性質や独自性、背後にある統一メカニズムなどを明らかにする力を身につける。				○							◎		○					○	◎
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2320	グローバル化と文化	2	講義	情報社会と密接なつながりのあるグローバル化の展開を文化とともに捉える能力を身につける。日本を含む多様な国・地域における、ことばの伝播、伝統文化の継承、国民文化の変遷、文化政策、表象文化論について学ぶことを通じて、これらの分野における知識を身につける。その結果、グローバル化の時代の文化的課題を理解できるようになる。				◎				○									◎		○
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2321	情報社会思想	2	講義	情報社会を形成している重要な思想のエッセンスを把握し、批判的に検討することで、情報社会に対して批判的かつ実践的に研究し、関わっていくための基本的な視座を獲得する。			◎	△				△	○	△	○	△				◎	○	○	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2322	パブリック・ガバナンス論	2	講義	現代社会・コミュニティの諸課題に対し、その背景・構造に関する基礎知識を習得するとともに、情報ネットワーク化する社会の特質をも踏まえた、課題解決に向けての提案力を獲得する。													○	◎	○			○	◎

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2323	ジェンダー論	2	講義	本講義では、現代社会を考えるにあたって必須の課題、男女平等(ジェンダー平等、ジェンダーエクイティ)をすすめるために必要な社会認識及びそのための方法論(ジェンダー論)を学ぶことができる。ジェンダーの観点から、メディア、学校、職場、家族などさまざまな領域を分析し、男女平等とは何か、男女平等の社会とはどのような社会か、またその実現のためには何が必要なのかを考えていく。受講生は、本講義を通し、「ジェンダー」の視点から考えることを学ぶことができるとともに、この観点からの社会システム構築やコミュニケーションデザインを学ぶことができる。			△				○		△	◎	○	△			○	○	◎	○		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2324	インタビュー・スキルズ	2	講義	この実習では、社会や地域などの課題に対して、社会調査を通して理解し、自らの問題意識に基づいて情報を構成し、社会に対して情報発信していくための知識と技術を習得しながら、情報の発信者としての視点や素養を実践的に学ぶ。実際に、社会や地域などと関わりを持ちながら、インタビューの撮影と分析および編集といった実習を行う。実習を通して、メッセージを込めたメディア作品を制作することで、社会や地域におけるメディアの役割について理解し、メディアを有効に活用できるようになる。							○		△	△	○		◎			○	○	◎		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2325	言語習得論	2	講義	本科目の目的は、人間が言語を習得する仕組みについての知識を、母語獲得研究と第二言語習得研究をとおして身に付けることである。具体的には、母語獲得研究および第二言語習得研究の理論を学ぶこと、そして実際に第二言語習得データを収集・分析することを通して、人間が言語を習得する過程についての知識を見つける。さらに、言語習得研究の成果を基に、情報社会において第二言語を効果的に学習する方法を考察できることを目指す。			○		○	◎					△					○	◎			
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2326	情報と法	2	講義	前半は、表現の自由、プライバシー権、知的財産権等を重点的に取り上げ、情報活動に関する主な法規制の手法を学習させる。前半の知識を補完しつつ、後半は、立法、行政、司法及び法実務の情報化とその課題を通じて、情報活動の諸ルールを検討する能力を養うことを目的とする。			◎					◎				△	◎				○			
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2327	地域環境政策論	2	講義	地域・環境に関わる政策をテーマに、情報社会における地域社会のあるべき発展を構想するために必要な知識、思考力、想像力を修得すること			◎												◎		○			
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2328	民俗資料論	2	講義	静岡県内の遺跡及び遺物を時代別によりあげ、考古学資料からみた静岡県の特性を理解できるようになること												◎						◎		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2329	生涯学習概論	2	講義	① 生涯学習の考え方を理解し、生涯学習の学びの特質を理解する。 ② 生涯学習の現状を理解し、現代的意義と現代的課題を理解する。 ③ 生涯学習社会における子ども・若者文化の現状と課題を理解する。 ④ 知の循環型社会としての生涯学習社会の構築に向けての課題を理解する。											○	◎					◎			
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2330	アーカイブ管理論	2	講義	アーカイブの基礎的な知識を身につけることを目指す。具体的には以下の点ができるようになっていることとする。(1)アーカイブの役割について説明できる。(2)アーカイブを取り扱うための基礎的な知識を得ている。(3)記録保存の問題に関心を持ってようになっている。			◎									○	○		◎		○	○		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2331	美術とメディア	2	講義	美術史研究の基本的な目的である美術作品の様式史を理解するとともに、このようなヴィジュアルな表現の解釈法を身につける。			○							○	◎					○		◎		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2332	考古資料論	2	講義	美術史研究の基本的な目的である美術作品の様式史を理解するとともに、このようなヴィジュアルな表現の解釈法を身につける。			○							○	◎					○		◎		
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2333	データベース論	2	講義	実効のある情報システムの構築には、そこで扱う情報を効率よく、かつ効果的に管理する仕組みであるデータベースが不可欠である。この授業では、データベースの原理、その設計手法とその基礎をなす理論、そしてデータベースを実現するための技術について理解し、適切な例を用いて説明できるようになることを目標とする。		○											◎		○				◎	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2334	多変量解析	2	講義	行動情報学データサイエンス系コア科目群の中でも、後続科目を学ぶよでの基礎となる科目である。各個体や対象に対して、複数の特性について観測されたデータに基づき、各特性間の相互関連性を分析するための手法は多変量解析手法とよばれ、本講義はその入門と位置づけられる。本授業では統計学的理論と実際のデータへの適用例の両側面から各手法を解説し演習を多く取り入れることで、学生は多変量解析法の基本的な考え方について理解し、実践できるようになることを目標とする。		○										◎	○				○		◎	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2335	先端情報学実習 I - a	2	実習	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。												○	◎		○		○		◎	
専門科目	情報社会学科	2年次	選択	INSI2336	先端情報学実習 I - b	2	実習	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。												○	◎		○		○		◎	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3307	メディア・コンテンツ法	2	講義	メディア・コンテンツ産業に職業として携わる者はもちろん、その消費者にとっても必要な基礎的な法的知識を習得するとともに、メディア・コンテンツの創造性を活かすための法的な保護や規制のあり方を、実践的に考察・提案する能力を獲得する。												◎	○	○				◎	○	

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4		
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3308	現代文化論	2	講義	「IT革命」が加速して展開して「人間のあり方」をまさに変えている最中の現代の世の中一方、我々の生きがいと「アイデンティティ」を支えてヒューマンコミュニティーを可能にする「OS/ソフトウェア」はこの1万年間の間に基本的に「文化1.0」のままで留まっている。我々の進む技術(AIなど)とそのままで留まっている文化の仕組みと両方法との広がるギャップはいろいろな社会問題を発生する。今後ITなどの分野で活躍するために、これらの問題を理解し深く考えることができるようになることを目標とする。			○	◎					△						○	◎				
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3309	情報産業分析	2	講義	情報産業の構造、特質を把握し、これから求められる政策やビジネスモデルについて考えられるようになる。				○								○		◎			○	◎		
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3310	フィールドリサーチ	2	実習	受講生は本講義を通し、「社会調査法」等で学んだ諸技法を活かし、調査を企画・実施できる力を身につけることができる。また本講義では、さまざまな分野で活躍している人々へのインタビューや質問紙調査などを行うため、インタビューのスキルや調査票作成のスキルを磨くことができるとともに、人々の意識についての深い洞察力とともに、調査対象者(協力者)に対する共感性を磨くことができる。さらにデータの集計やデータベースの作成のスキルを身につけ、調査結果をプレゼンテーションしたり、報告書を執筆するなど、総合的な調査力を身につけることができる。				△				△	○	◎	○	△	△	△				○	◎	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3311	家族福祉政策論	2	講義	本講義を通し、受講生は「福祉」概念を深く理解したうえで、生活者の視点からコミュニティをデザインしていくために必要な視点と諸知識を得ることが出来る。本講義で扱う「福祉」は、人々を幸福にするための制度・政策・実践などを意味する極めて広義の概念であり、いわば共生社会を作り上げていくための全ての実践を意味する。受講者は授業を通し、現在の日本の福祉制度・福祉政策の概要を学ぶことができるとともに、福祉にかかわる現代的諸課題を自ら読み解き、分析する力をつけることができる。				△				△	△	△	◎	○	○	○			○	○	◎	○
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3312	金融システム論	2	講義	銀行業、証券業、国際金融、地域金融などの金融システムの現状と、最近の変化や課題を学び、情報技術の有効活用を中心とした課題解決策について、具体的に提案できるようにする。												◎	○	○				◎	○	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3313	先端情報学実習Ⅱ-a	2	実習	学部教育課程の早期から先端的情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究的な実効的な推進を目指す。そして、この科目の強力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。																		○	◎	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3314	先端情報学実習Ⅱ-b	2	実習	学部教育課程の早期から先端的情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究的な実効的な推進を目指す。そして、この科目の強力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。																		○	◎	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3315	インターンシップSIS-A	2	実習	情報学部で学んだ知識の深化・授業で得た知識が活用されている場を活用し深められるようになる。キャリア形成・礼儀、約束、コミュニケーション等の重要性を体験し、社会人の行動方法を理解できるようになる。進路選択へのきっかけ、準備・就職活動そのものではない、採用直結型のインターンシップを行っている企業もあるが、ここでは対象外とする。企業組織や業務について理解できるようになる。																			◎	
専門科目	情報社会学科	3年次	選択	INSI3316	インターンシップSIS-B	1	実習	情報学部で学んだ知識の深化・授業で得た知識が活用されている場を活用し深められるようになる。キャリア形成・礼儀、約束、コミュニケーション等の重要性を体験し、社会人の行動方法を理解できるようになる。進路選択へのきっかけ、準備・就職活動そのものではない、採用直結型のインターンシップを行っている企業もあるが、ここでは対象外とする。企業組織や業務について理解できるようになる。																			◎	
専門科目	情報社会学科	4年次	選択	INSI4304	先端情報学実習Ⅲ-a	2	実習	学部教育課程の早期から先端的情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究的な実効的な推進を目指す。そして、この科目の強力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。																		○	◎	
専門科目	情報社会学科	4年次	選択	INSI4305	先端情報学実習Ⅲ-b	2	実習	学部教育課程の早期から先端的情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究的な実効的な推進を目指す。そして、この科目の強力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。																		○	◎	

令和2年度～令和5年度入学生用 カリキュラム・マップ

情報学部 行動情報学科

(令和3年3月4日更新)

学位		ディプロマ・ポリシー(DP)																											
学士(情報学)																													
付属情報	強く該当するところ◎、該当するところ○、その他関係するところ△																												
	1. 専門知識	2. 情報倫理、コミュニケーション能力				3. 論理的思考力			4. 実践力				(中区分別の該当状況)																
情報科学についての知識	行動情報学についての知識	情報社会学についての知識	国際化及びグローバル化についての理解	英語の理解・運用能力	異文化コミュニケーションにおける問題理解・解決	利害・興味・文化、国を越えた人との協調・協働	情報取扱のモラル、マナー、セキュリティ	状況を認識するための必要な情報の収集	情報と知識理解を通じた状況分析・論理的考察	解決すべき社会的・技術的課題の発見・理解	専門知識・能力を活用した解決策の導出	解決策についての説得力ある発表・文書化	解決策の実施・実施・評価	1. 専門知識	2. 情報倫理、コミュニケーション能力	3. 論理的思考力	4. 実践力												
大区分	中区分	小区分	必修選択	科目NO	授業科目	単位	開講種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4			
専門科目	行動情報学科	1年次	必修	INBI101	マネジメント思考	2	講義	現代の世の中では、与えられた問題を効率的に解くだけでは不十分で、自らゴール・目標を設定し、それに至るための問題を自ら定義し、解決策を探っていく能力が求められる。本講義では、マネジメントに関する入門レベルの理論を踏まえたうえで、情報システムによる経営課題の解決を念頭に、問題の発見・定義・解決・検証の一連のプロセスについて学ぶ。		○									◎	○			○		◎	○			
専門科目	行動情報学科	1年次	必修	INBI102	認知科学と行動情報	2	講義	情報は、物理力だけでなく意味作用を通じて世界を変化させ、そこに価値と秩序を与える。このような情報の利用に関わる体系的な知識を獲得するために、コンピュータなどの電子機器における情報と人間の認知活動を踏まえた社会的コミュニケーションに現れる情報との間の関係(共通点と相違点)を捉える枠組みが獲得することを目指す。特に、この枠組みを認知科学の観点から学習し、行動情報学科における後続科目が取り扱う諸問題を考える基盤を構築する。			◎									○				◎		○			
専門科目	行動情報学科	1年次	必修	INBI103	マネジメントデザイン	2	講義	・行動やマネジメントをデザインするためのモデリング手法を実践的に学習する。 ・マーケティングになるための市場分析データサイエンスを学習する ・ITシステム開発と接続させるための手法について学ぶ			◎								○	○				◎		○			
専門科目	行動情報学科	1年次	必修	INBI104	ユーザビリティ論	2	講義	「人間の情報処理特性」とその制約を学び、その上で各種の「システム」の利用における「ユーザビリティ」「ユーザエクスペリエンス」の概念を理解することで、様々な状況においてユーザが直面する問題を発見し、その解決策を提案できるようになることを目標とする。											○	◎	○				◎	○			
専門科目	行動情報学科	1年次	必修	INBI105	統計学入門	2	講義	行動情報学科のカリキュラムにおいてデータサイエンス系コア科目の入門編として、データ解析に必要な基本的な知識や考え方を身に付ける。また、記述統計学・推測統計学の基本的な考え方を身に付け、得られたデータを解析・整理・要約し、データを分析して母集団における状況を推測できるようになる。		○								○	◎					○		◎			
専門科目	行動情報学科	1年次	必修	INBI106	コンピュータネットワーク基礎	2	講義	OSI7階層モデル、プロトコル、フロー制御、ルーティング、TOP/IPなどの概念を身に付け、ネットワーク技術の基礎理論を修得する。これにより、コンピュータの原理およびシステム科学技術の修得と、情報システムの開発・設計・分析能力の基盤を形成することができる。本講義では、計算機ネットワークで使われる技術の本質を深く理解し、将来の計算機ネットワークがいかにあるべきかを考える力を養うことができる。			◎										○			◎			○		
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2101	経営管理	2	講義	①企業経営における経営管理及び業務管理の概要を理解する。②情報技術の発展に伴う管理形態の概要・発展・変遷を理解する。③①②を通して、情報化社会における職業観・勤労観を身につける。			○									○	◎			○		○	◎		
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2102	多変量解析	2	講義	行動情報学科データサイエンス系コア科目群の中でも、後続科目を学ぶ上での基盤となる科目である。各個体や対象に対して、複数の特性について観測されたデータに基づき、各特性間の相互関連性を分析するための手法は多変量解析手法とよばれる。本講義はその入門と位置づけられる。本授業では統計学的理論と実際のデータへの適用例の両側面から各手法を解説し演習を多く取り入れることで、学生は多変量解析法の基本的な考え方について理解し、実践できるようになることを目標とする。			○									◎	○				○		◎		
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2103	情報システム基礎演習	2	講義・演習	情報システムの設計において不可欠な二つの技術的な柱、すなわち、ビジネスモデリング技法とデータ設計について、その原理を理解すると同時に、演習をとおして実践的スキルを身に付け、活用できるようになることを目指す。			○									◎	○			○			◎		
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2104	データベース論	2	講義	実効のある情報システムの構築には、そこで扱う情報を効率よく、かつ効果的に管理する仕組みであるデータベースが不可欠である。この授業では、データベースの原理、その設計手法とその基盤をなす理論、そしてデータベースを実現するための技術について理解し、適切な例を用いて説明できるようになることを目標とする。			○										◎	○		○			◎		
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2105	アルゴリズムとデータ構造基礎	2	講義	アルゴリズムとデータ構造は、コンピュータを基盤とした情報システムの構築における最も重要かつそのコアとなる理論を構成するものであることから、本講義では、その専門知識としての基礎理論を習得し応用例に触れるとともに、連携して行われる演習を通じて、その実践力を養いこれらを学ぶことの意義を理解できるようにすることを目標とする。			◎									○				◎		○			
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2106	データ処理プログラミング	2	講義	プログラミングが得意理解しているかどうかは、機械を使う側につか、機械に使われる側になるかの分け目になる技能であり、直接関連する職業でなくとも現在の、そして今後の社会・企業においてはより大きく、個人の価値を上下させる。データ処理という点では、いわゆるビッグデータの処理や人工知能関連技術において機械学習の利用はその中核である。本演習では機械学習の利用を題材に、Java初級プログラミングとして基礎的な概念、代表的な標準APIとその使いこなしを身に付け、個々のプログラミングスキルを向上させる。また、コマンドラインの基本的な利用方法を習得する。作業を通じて、オープンソースツールやサードパーティライブラリの利用を体験し、短期間で完成度の高いシステムを完成させる方法の習得を目指す。			◎											○		○		◎		○	○
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2107	ビジネスプランニング I	2	講義	ビジネスの計画立案に関する基礎的な考え方を学ぶ。ビジネスの計画立案にあたっては、「どのような市場に参入するか」といった大きな視点から「どのように事業を計画するか」といった具体的な視点まで、さまざまな視点が必要となる。この授業では、これらの概略が把握できることを目標とする。			○										○	◎		○		○	◎		
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2108	データアナリティクス I	2	講義	具体的な事例の解析を様々な角度から実施し、講義を中心とした理論と、データハンドリングや解析のための簡単なプログラミングを含む実践の双方を実施することで、単に解析ソフトウェアを使えるというだけでなく、ビッグデータ時代におけるデータ分析において重要な横断的・統合的な視点を身につける。											○	◎	○				◎		○		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4		
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2109	知的情報システム開発Ⅰ	2	講義	知的情報システムにおいてデータの解析や推測、サービスを実行するツールの作成には、機械学習に代表される汎用的な手法の利用と同時に、各個のデータとそのデータの分野に応じた専門知識を踏まえた上での、人間の「知恵と工夫」が重要である。本講義では、最先端の研究・産業応用を事例に、他所では学ぶことの難しい、直観的な理解と応用までつなげた実用的な知識の使いこなしを学習する。具体的には、機械学習手法の直観的理解、評価手法、各分野での適用方法、モデルの違いと限界を習得し、個別の課題で応用していくための基礎を身に付ける。	○	◎										○			◎			○		
専門科目	行動情報学科	2年次	必修	INBI2110	Webシステム設計演習	2	講義、演習	情報システムのサービス機能を実現するアプリケーション層およびサービス品質を実現するシステム基盤層の役割と一般的な構成の概要を身につける。また、要件分析から設計、実装、テスト等の開発プロセスについて、提示されたケースによる簡易なシステム開発を実践することで身につける。										○			○	◎			○	◎		
専門科目	行動情報学科	3年次	必修	INBI3101	情報学方法論演習	2	講義	情報学の基礎的な学習から次第に専門的な領域に踏み入り、さらに卒業研究へと展開、発展させる階梯におかれた特別な授業である。この授業は、各学科毎に開講され、学科担当教員の个性的で専門的な情報学の紹介・入門的な授業を受けることで、情報学の専門的深さと多様さ・広がりを変えて学び、その授業を通じて、後期からの研究選定(行動情報学演習)を決定する。		◎										○			○	◎		○	○	
専門科目	行動情報学科	3年次	必修	INBI3102	行動情報学演習	1	講義	卒業研究準備のための演習を実施し、文献調査方法、英語論文読解能力、プレゼンテーション技法、等を身につける。					△					◎	○			○				◎	○	
専門科目	行動情報学科	4年次	必修	INBI4101	卒業研究	6	講義	指導教員による最新の研究テーマによる実践的研究に携わることにより、情報学における専門的知識の統合化を図るとともに、実践的な問題解決能力を涵養する。さらに、研究の遂行を通して、種々の制約の中から実現可能な解を見出して実践する能力、研究の遂行に関して自らスケジュールを立てて計画的に実行する能力、研究の成果を卒業論文に取りまとめ、成果の骨子を分かりやすく説明するためのプレゼンテーション能力を身につける。				△							△	△	△	○	◎	○			◎	
専門科目	行動情報学科	1年次	選択必修	INBI1207	線形代数学Ⅰ	2	講義	線形代数学Ⅰ、Ⅱを通じて、ベクトル、行列、連立一次方程式、行列式、固有値と固有ベクトル、線形空間などの学習項目を受講し、数学的な論理の展開や概念の抽象化に必要な基礎知識を身につける。これにより、論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の基盤を形成する。	○	○									◎	○				○		◎		
専門科目	行動情報学科	1年次	選択必修	INBI1208	微分積分学Ⅰ	2	講義	微分積分学Ⅰ、Ⅱを通じて、極限、微分法、積分法、偏微分法、重積分法、微分方程式などの学習項目を受講し、数学的な論理の展開や概念の抽象化に必要な基礎知識を身につける。これにより、論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の基盤を形成する。	○	○									◎					○		◎		
専門科目	行動情報学科	1年次	選択必修	INBI1209	集合・確率	2	講義	集合論・確率論についての概念を理解し、情報の分析、論理的思考、理解力、表現力、問題解決能力の養成が出来る様になる。	◎												○	○			◎		○	
専門科目	行動情報学科	1年次	選択必修	INBI1210	線形代数学Ⅱ	2	講義	線形代数学Ⅰ、Ⅱを通じて、ベクトル、行列、連立一次方程式、行列式、固有値と固有ベクトル、線形空間などの学習項目を受講し、数学的な論理の展開や概念の抽象化に必要な基礎知識を身につける。これにより、論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の基盤を形成する。	○	○									◎	○				○		◎		
専門科目	行動情報学科	1年次	選択必修	INBI1211	微分積分学Ⅱ	2	講義	線形代数学Ⅰ、Ⅱを通じて、ベクトル、行列、連立一次方程式、行列式、固有値と固有ベクトル、線形空間などの学習項目を受講し、数学的な論理の展開や概念の抽象化に必要な基礎知識を身につける。これにより、論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の基盤を形成する。	○	○									◎	○				○		◎		
専門科目	行動情報学科	1年次	選択必修	INBI1212	グラフ理論	1	講義	グラフ理論についての基礎事項を身に付け、使いこなせるようになる。	◎													○			◎		○	
専門科目	行動情報学科	1年次	選択必修	INBI1213	数理論理Ⅰ	1	講義	数理論理学における命題論理、ブール代数、述語論理、標準形概念を理解できるようにする。	◎													○			◎		○	
専門科目	行動情報学科	3年次	選択必修	INBI3203	ビジネスプランニングⅡ	2	演習	ビジネスゲームを通じ、経営センスや、商品・サービスの業界分析などの知識を習得する。また、ビジネスプラン立案の実践で、ビジネスプラン策定における一連のプロセスを体験することによって、その手法と共にビジネスを構想する力を身に付ける。								○					○		◎		○		◎	
専門科目	行動情報学科	3年次	選択必修	INBI3204	データアナリティクスⅡ	2	演習	データアナリティクスⅡでは、実習を含んではいないが主に基礎的な知識を習得することを目的としています。それを踏まえて、本演習ではデータアナリティクスの実践サイクルを活動を通して実践的知識を獲得します。		◎									△	○		△	○	◎				
専門科目	行動情報学科	3年次	選択必修	INBI3205	知的情報システム開発Ⅱ	2	演習	本演習では情報技術やプログラミング技術のほか、機械学習手法を用いた知的情報システムを設計・開発・運用するための基礎的な思考法を実践し、現実の場面で活かすことができる能力を身に付ける。そのために、さまざまなマルチメディアデータの中から各自の興味に応じて自らテーマを設定し、機械学習手法を用いた知的情報システムを構築し、システム構築を通じて、機械学習の利用やデータ分析の実際を習得する。開発すること以外に、スケジュール管理やドキュメント執筆・プレゼンテーションなどの演習も含み、開発における日程管理、技術文書や発表資料の作成方法も身に付ける。													○	○	◎					◎
専門科目	行動情報学科	1年次	選択	INBI1314	情報社会論	2	講義	・情報社会の全体構造や組織構造を捉えるために、情報社会のシステム論を学習する。 ・個人を中心に、企業や政府などの視点も含めて、各主体から見る情報社会の全体観を身につける。										○	○	△		◎			○	◎		
専門科目	行動情報学科	1年次	選択	INBI1315	社会公共システム論	2	講義	公共サービスの提供を支えている情報システムの導入経緯、概要、意義、そして課題を学習することで、社会構造という側面から情報社会を分析するための基本的な知識、視点を身につける。		◎	○						○							◎	○			
専門科目	行動情報学科	1年次	選択	INBI1316	メディア・リテラシー	2	講義	コミュニケーションの特徴を情報技術を用いて可視的なものにし、コミュニケーションへの理解を深め、その活性化を促す仕組みを築く力を身につける。また、そのような作業を通じて、自らのコミュニケーション力を培い、必要な情報技術を身につけていく。情報技術の活用がコミュニケーションの活性化をどのように導くか、また、コミュニケーション活性化のための考察が情報技術の発展をどのように促すか、といったことを考える力を身につけると同時に、コミュニケーション実践力を身につける。		○	◎										○				◎		○	
専門科目	行動情報学科	1年次	選択	INBI1317	社会調査論	2	講義	社会調査の意義、社会調査史、社会調査の目的、調査方法論、調査倫理などに関する基本的事項と社会調査の具体的事例について学ぶことを通じて、社会調査とデータ処理に関する基礎的な知識を習得する。									○	◎	○						○	◎		

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4		
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2311	情報理論	2	講義	情報量、エントロピー、情報源符号化定理、通信路符号化定理などの概念を理解し、情報理論の基礎を身につけ、理論を応用できるようになる。これにより、情報の分析能力および論理的思考能力、理解力、表現力、問題解決能力の基盤を形成することができる。「情報」を数量としてあつかうエントロピーを学び、シャノンが導いた「情報源符号化定理」、「通信路符号化定理」などを習得することができる。		◎										○			◎			○		
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2312	プログラミング方法論	2	講義	分析工程、設計工程、プログラム開発、テスト、オブジェクト指向などの概念を理解し説明できるようになる。そして、検査・変更・拡張が容易なプログラムを作成する方法論を理解し、大規模かつ良質なプログラムを作成する基礎を身につける。これにより、ソフトウェアおよびシステム科学技術の修得と、情報システムの開発・設計・分析能力を形成する。	○									○		○			○					
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2313	ICT経済論	2	講義	現在のさまざまな経済活動において、情報やネットワークがどのような影響を与えているかについて理解できるようになる。		○	◎										○			◎		○		
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2314	社会調査法	2	講義	本講義では、社会調査の代表的な手法である、量的調査法と質的調査法を学ぶことを通じて、社会調査の基本的な技法やマナーを習得することができる。受講生は、グループワークを通して、主体的に社会調査の設計と実践に取り組み、集計、発表、報告書執筆などで調査の一連のプロセスを経験し、スキルを身につけることができる。			△				△	○	◎	△	△		○			○	○	◎	○	
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2315	情報社会思想	2	講義	情報社会を形成している重要な思想のエッセンスを把握し、批判的に検討することで、情報社会に対して批判的かつ実践的に研究し、関わっていくための基本的な視座を獲得する。			◎	△			△	○	△	○	△				◎	○	○			
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2316	経営ケース分析	2	講義	経営システムや情報システムに関連するホットトピックスや事例に基づくディスカッションをとおして、経営戦略、経営管理論、マーケティング論、国際経営などの最近の動向に対する理解を深める。さらに、新たなビジネスデザインの企画・設計・開発を行う際に求められる、その背景・上位概念となる戦略やビジネスロジックについて検討するための素養を習得する。			○		○											○	○		◎	
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2317	数理・統計モデリング	2	講義	ヒトの行動や社会・自然現象などを説明する様々な要因を数値・統計モデル化し要因間を定量化することで、それらの現象を理解するデータ分析の理論と適用例を学習・理解する。また、関連応用分野(例:機械学習)を学ぶ前段階として必要となりうる知識を身に付ける。			○								◎	○				○		◎		
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2318	サービス・イノベーション	2	講義	改善・改革を実現するための組織のあり方やサービス・イノベーションに関連する理論を理解した上で、それに基づきICT技術等を活用したサービス・イノベーションのアイデアを提案できる能力を習得する。			○										○			○		◎	○	
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2319	データベースシステム論	2	講義	ER図を用いた対象世界のデータモデリングが行えるようになる。概念モデルからリレーショナルデータモデルを適切に構築できるようになる。データベースのCRUDと各種の問い合わせをSQLにより実装できるようになる。標準アーキテクチャを理解し、3層スキーマを説明できるようになる。問い合わせ最適化法を理解し、インデックスの効用を説明できるようになる。トランザクション処理を理解し、障害復旧と同時処理の仕組みを説明できるようになる。	◎													○			◎			○
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2320	人工知能概論	2	講義	人工知能(AI, Artificial Intelligence)という言葉が表す学問分野は大変幅広い。ここでは人工知能の黎明期から現在に至る様々な技術を具体例を通して学び、機械学習をはじめとする人工知能関連技術の全体像を把握できるようにする。	◎	○											○		◎				○	
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2321	社会モデル	2	講義	社会や経済を分析するためにさまざまなモデルが使われていることを知り、それらのモデルの意味を理解、活用できるようにする。											○	◎	○					◎		
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2322	情報管理社会論	2	講義	「情報管理社会」としての現代社会に対する分析の視点・知識を習得するとともに、的確な問題意識・批判力を獲得する。												○	◎	○				◎	○	
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2323	情報と法	2	講義	前半は、表現の自由、プライバシー権、知的財産権等を重点的に取り上げ、情報活動に関する主な法規制の手法を学習させる。前半の知識を構築しつつ、後半は、立法、行政、司法及び法実務の情報化とその課題を通じて、情報活動の諸ルールを検討する能力を養うことを目的とする。			◎					◎						△	◎				○	
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2324	先端情報学実習 I - a	2	実習	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲を持った学生と先端的研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。															○	◎		○	◎	
専門科目	行動情報学科	2年次	選択	INBI2325	先端情報学実習 I - b	2	実習	学部教育課程の早期から先端的な情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究の実効的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲を持った学生と先端的研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。															○	◎		○	◎	
専門科目	行動情報学科	2~4年次	選択	INBI2326	インターンシップBI-A	2	実習	情報学部で学んだ知識の深化・授業で得た知識が活用されている場を活用し深められるようになる。キャリア形成・礼儀・約束、コミュニケーション等の重要性を体験し、社会人の行動方法を理解できるようになる。進路選択へのきっかけ、準備・就職活動そのものではない、採用直結型のインターンシップを行っている企業もあるが、ここでは対象外とする。企業組織や業務について理解できるようになる。														◎					◎	
専門科目	行動情報学科	2~4年次	選択	INBI2327	インターンシップBI-B	1	実習	情報学部で学んだ知識の深化・授業で得た知識が活用されている場を活用し深められるようになる。キャリア形成・礼儀・約束、コミュニケーション等の重要性を体験し、社会人の行動方法を理解できるようになる。進路選択へのきっかけ、準備・就職活動そのものではない、採用直結型のインターンシップを行っている企業もあるが、ここでは対象外とする。企業組織や業務について理解できるようになる。														◎					◎	
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3306	データマイニングと機械学習	2	講義	本科目では、大量のデータから有用な知見や仮説を自動抽出する「データマイニング」技術、および、データに潜むパターンを学習し未知のデータに対して予測を行う「機械学習」技術の、統合的な理解と適用スキルの獲得を目的とする。		◎											○	○		◎			○	○
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3307	プロジェクトマネジメント	2	講義・演習	サービスを計画・推進するプロジェクトの設立を立案し、作業項目、分担、日程、コスト、達成品質、リスク、コミュニケーション方法などのマネジメント項目を計画、監視する技法について、演習を通して身につける。													○		◎	○			○	◎

大区分	中区分	小区分	必修 選択	科目NO	授業科目	単 位	開講 種別	授業目標	1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	3-3	4-1	4-2	4-3	1	2	3	4		
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3308	金融システム論	2	講義	銀行業、証券業、国際金融、地域金融などの金融システムの現状と、最近の変化や課題を学び、情報技術の有効活用を中心とした課題解決について、具体的に提案できるようにする。										◎	○	○					◎	○		
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3309	産業社会行動分析	2	講義	産業の発展と共に社会は成熟化する一方で、市場では消費者を捉えることが難しくなっている。その状況に対応するため、消費者の行動を分析し、商品・サービスにその知見を活かす方法を習得する。		○								◎	○				○		◎			
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3310	組織科学	2	講義	主に「ビジネス・エスノグラフィー」という観点から、自らが所属する組織を目的志向型の活動システムとして捉えるための活動理論について学習し、その理解を実践に適用する。その際、定性的分析手法としてのフィールドワーク、定量的分析としてのネットワーク分析の手法の基礎を、実習を通して習得します。		◎								○	○			△	◎		○	△		
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3311	視聴覚教育メディア論	2	講義	この授業の学習目標は、教育の文脈で用いられるマルチメディア教材を制作・使用する際に求められる原則的・理論的な事柄を理解することである。人の認知的特性など理論的な事柄や、マルチメディア教材をデザインするための原則を用いて、具体的な教材や教具を適切に評価し、問題点を指摘し、改善方法を提案できる力を身につける。		◎									○	△				◎		○		
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3312	オペレーティングシステム	2	講義	計算機システムにおいて、オペレーティングシステム(OS)は欠くことのできない重要なソフトウェアである。オペレーティングシステムの役割に関して、プロセス管理、メモリ管理、ファイルシステムなどの仕組みを理解できるようにする。これにより、コンピュータの原理およびシステム科学技術の修得と、情報システムの開発・設計・分析能力の基盤を形成できる基本的なテクノロジーを理解し、様々なシステムの開発へ活用できるような基礎能力を身につける。		◎									○	○					◎		○	○
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3313	ネットワークプログラミング	2	演習	計算機ネットワークの基礎事項を実装レベルで再確認し、サーバサイド・クライアントサイドの両者において通信を行う基本的なアプリケーションの設計・開発ができるようになる。	◎										○		○			◎		○	○	
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3314	ソフトウェア品質管理	2	講義	プロジェクトのリスク管理戦略の一環として効果的にテストを実施する方法(リスク分析、テスト計画、分析と設計、実行)を理解し説明できるようにする。具体的な事例に対してその方法を適用し、テスト計画の作成、テストケースの設計、テストの実行ができるようになる。品質の定義と測定・改善の方法について理解し説明できるようにする。		○										○	○			○				
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3315	人間情報活用論	2	講義	人間情報科学における人間の認知と行動の関係を理解し、人間がもつ知的能力と人工知能に象徴される情報システムとのコラボレーションに関する専門的知見を身につける。											○	○	◎			○		○	◎	
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3316	機械学習	2	講義	サポートベクターマシン、隠れマルコフモデル、深層学習、強化学習などの機械学習の主要な手法について理解できるようにする。また、統計的学習理論の基礎的な概念を理解できるようにする。与えられたタスクを実行するためのモデルを経験(データ)から学習する機械学習の基礎を理解し、さまざまな問題に適用する力をつける。統計的学習理論(STL)の基礎概念であるAC学習、VC次元、フテマンハ複雑性等を学び、汎化誤差を評価するための理論的枠組みを理解できるようにする。	◎												○	○			◎		○	○
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3317	学習過程論	2	講義	人間による協調学習過程を対象領域とした行動データ解析、モデリング、システム構築の手法を実践的に学習する。これを通して行動情報学に関わるスキルを統合的に活用することで直面する問題を解決する姿勢を獲得する。		◎											○	○		◎			○	
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3318	情報産業分析	2	講義	情報産業の構造、特質を把握し、これから求められる政策やビジネスモデルについて考えられるようになる。				○									○		◎			○	◎	
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3319	オペレーション計画	2	講義	実務で直面する問題の中には、解決手法が確立されているものも多々ある。そのような解決手法の中でも特に数理的な手法では、問題を定式化することが必要となる。この授業では、代表的な数理的問題解決手法に関する知識の獲得と、問題を定式化するスキルの習得を目指す。		○											◎		○	○			◎	
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3320	ヒューマンインタフェース及び演習	2	講義・演習	人間にとって望ましいヒューマンインタフェースを実現するための技術と実装方法を理解できるようにする。日進月歩の情報通信技術、ヒューマンサイエンス、システムデザインが融合的に関わっており、人間と機器システムの界面としてのインタフェースに加えて、ハードとソフトを融合した価値の創出を対象とする。人間という観点で情報技術を考える本講義と実践的演習を通じて、ヒューマンインタフェース設計の多面的な力を身につける。												◎	○			○		◎		
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3321	先端情報学実習Ⅱ-a	2	実習	学部教育課程の早期から先端的情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究所の効率的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。												○		◎	○			○	◎	
専門科目	行動情報学科	3年次	選択	INBI3322	先端情報学実習Ⅱ-b	2	実習	学部教育課程の早期から先端的情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究所の効率的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。												○		◎	○			○	◎	
専門科目	行動情報学科	4年次	選択	INBI4302	行動情報学実践	2	講義・演習	行動情報学教員をアドバイザーとして学外コンテストなどへ挑戦することを通じて、専門教育で身に付けた知識を統合する行動的な情報学スキルを獲得する。		○									○	◎	○	○	◎			○	◎	
専門科目	行動情報学科	4年次	選択	INBI4303	行動情報学探究	2	講義・演習	各研究室でのケーススタディやシステム開発、データアナリティクスなど多様な研究活動を通して、国内外の学会での研究発表や学術誌への論文掲載に挑戦して、高度な研究スキルの獲得を目指す。			◎								○	◎	○	○	○	○		◎		
専門科目	行動情報学科	4年次	選択	INBI4304	先端情報学実習Ⅲ-a	2	実習	学部教育課程の早期から先端的情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究所の効率的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。												○		◎	○			○	◎	
専門科目	行動情報学科	4年次	選択	INBI4305	先端情報学実習Ⅲ-b	2	実習	学部教育課程の早期から先端的情報学研究を学生が体験できる環境を提供し、学生による主体的な研究活動の指導・支援と情報学部における文工融合型情報学研究所の効率的な推進を目指す。そして、この科目の弾力的な運用を通して、情報学部で学ぶ高い意欲をもった学生と先端的な研究に従事する教員とが目標を共有した研究プロジェクトを継続的に推進し、学内外に高い質の研究成果を示すことを目指す。												○		◎	○			○	◎	